	: 木 工 事 成	繂	郵		畫				契	約番	:号									
	. 小 工 爭	限	TH	疋	Ħ	,			I.	事種	刉									
工事名称										_			氏	名			評気	官年月	月日	
工事和你									監	督	員									
請負業者名									総招	監										
現場代理人									検	査	員									
検 査 方 法									_	工事	概要	ī								
監 理 方 法									_	口子	194.39									
	自				É	己成日	1													
工期	至(当初)				当初	刀請負	負額													
	至(最終)				最終	冬請負	負額													
									評	ž fi	H	区	分							
Ī	評価項目	=	主任盟	监督员	員評別	ŧ		総	括監	[督]	員評	定				検査	員達	平定		
		а	b	С	d	е	a	a'	b	b'	С	d	е	a	a'	b	b'	С	d	е
1. 施工体制	I. 施工体制一般	1	0.5	0	-5	-10					_								_	_
	Ⅱ.配置技術者	3	1. 5	0	-5	-10	_	_	_					_		_				
2. 施工状況	I. 施工管理	4	2	0	-5	-10								5		2. 5	$\overline{/}$	0	-7. 5	-15
	Ⅱ. 工程管理	4	2	0	-5	-10	2	$\overline{/}$	1	$\overline{/}$	0	-7.5	-15						_	
	Ⅲ. 安全管理	5	2. 5	0	-5	-10	3		1.5		0	-7. 5	-15				/			
	IV. 対外関係	2	1	0	-2.5	-5									/					
3. 出来形	I. 出来形	4	2	0	-2.5	-5						/		10	7. 5	5	2.5	0	-10	-20
及び	Ⅱ.品 質	5	2.5	0	-2.5	-5				/				15	12	7. 5	4	0	-12. 5	-25
出来栄え	Ⅲ. 出来栄え							/						5		2. 5		0	-5	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	_									0									
5. 創意工夫	I.創意工夫			0							_								_	
6. 社会性等	I.地域への貢献等	_					10	7. 5	5	2.5	0									
7. 加減点計					Ą	总						点							点	
8. 評定点 計		(6	5+加洞	太点)×	0.4				(65	+加減	点)×(0.2				(6	5+加減	点)×	0.4	
9. 法令遵守等	_										点									
10. 評定点 台			点	[8. 許	F定点	計(点)	+ !	9. 法	令遵'	守等				ķ	点]	
Ē	所 見																			

評価項目1

	評価必須項目
凡例	工事により対象となる項目
	評価対象項目には加えない

項目選択欄により評価対象としない項目は*を外す

評価項目	細目	項目 選択	監督員	評価対象項目
		選択	皿日只	TIIIIハ ※ 次日 , 工事カルテの登録は事前に監督職員の確認を受け契約締結後及び変更契約後、10日以内に登録し
1. 施工体制	I. 施工体制一般			「ている。(ただし請負金額500万円以上が対象)
				2 品質証明(材料等)の資料が整理され、確認時期・方法がよく把握されている。
				建退共制度の共済証紙の購入等が適切に行われ「共済証紙受払簿」等により適切に管理されている。 3 る。
		*		4 施工体制台帳、施工体系図が整備され、作業分担の範囲が明確に記載されている。
		*		5 現場に施工体系図が掲げられ現場の体制と一致している。
		*		6 災害防止協議会等が設置されている。
				7 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。
				8 工場製作期間における技術者を適切に配置している。
				工場製作に係る機材等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整 9 えている。
				10 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について判定欄に×が無い。
				11 その他()
	,			12 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。⇒d評価(やや不適切である。)
				13 施工体制一般に関して監督職員からの文書による改善指示に従わなかった⇒e評価(不適切である)
	該当項目	目数	0	評価値が90%以上a 適切である。
	評価対象	項目	3	評価値が80%以上90%未満b ほぼ適切である。
	評価値	直	0%	評価値が80%未満c 他の評価に該当しない。
	評り	定	c	「12」の項目に該当d やや不適切である。
	評点	点	0.0	「13」の項目に該当e 不適切である。
				●評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
	Ⅱ. 配置技術者			1 現場代理人は、現場に常駐し、かつ工事全体を把握している。
	(現場代理人等)			現場代理人は、監督職員との連絡調整及び対応を書面(建設CALS含む)で適時かつ的確に行っている。
		*		。 現場代理人は、設計図書と現場との相違があった場合、監督職員と協議するなどの必要な対応を 3 行っている。
		*		4 監理(主任)技術者は書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。
		*		5 監理(主任)技術者は契約書、設計図書、適用すべき諸基準を理解し、施工に反映している。 6 監理(主任)技術者は、施工に先立ち、現場及び施工上の課題となる条件を把握し、工事を進めてい
				ి వే.
		*		7 監理(主任)技術者は、下請けの施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。
		*		8 監理(主任)技術者が明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 当該工事に必要な専門技術者を選任1 配置1 ている (専門技術者の配置が求められる工事が対
				9 当該工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。(専門技術者の配置が求められる工事が対象) 9 当該作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。(作業主任者の配置が求められる作業が対象)
				家) 11 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について判定欄に×が無い。
				12 その他()
				13 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。⇒d評価(やや不適切である)
				14 指定した専門技術者が配置されていない。⇒d評価(やや不適切である。)
				15 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった⇒e評価(不適切である)
	該当項目	目数	0	評価値が90%以上 適切である。
	評価対象		5	評価値が80%以上90%未満b ほぼ適切である。
	評価値	直	0%	評価値が80%未満c 他の評価に該当しない。
	評り	定	c	「13、14」の項目に該当d やや不適切である。
	評	点	0.0	「15」の項目に該当e 不適切である。
				●「13,14」の項目で二つ該当あればe評価とする。
]				●評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

評価項目	細目	項目選択		評価対象項目
2. 施工状況	I. 施工管理			1 現場条件の変化に対して、適切に対応している。
		*		2 当初計画書を契約後30日以内に提出し、所定の項目を記載している。
				3 施工計画書(変更を含む)の記載内容が、設計図書、現場条件と一致(変更内容を反映)している
				4 工事材料を品質に影響が無いよう保管している。
				品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っており、書面(建設CALS含む)で 確認できる。
				。確認できる。 出来形管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っており、書面(建設CALS含む)で 6確認できる。
		*		7 現場内の整理整頓を日常的に行っている。
				8 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。
				9 段階確認及びその報告の時期、内容、頻度が適切であることが確認できる。
		*		10 協議書(打ち合わせ簿)を不足なく整理している。
		*		11 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。
		*		指定建設機械(低騒音型、低振動型、排出ガス対策型等)がある場合、指定通りの建設機械及び車両 12 を使用している。
				13 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について判定欄に×が無い。
				14 その他()
				15 施工計画書が工事着手前に提出されていない。⇒d評価(やや不適切である。)
				16 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。⇒d評価(やや不適切である。)
				17 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。⇒e評価(不適切である)
	該当項	頁目数	0	評価値が90%以上a 適切である。
	評価対	象項目	5	評価値が80%以上90%未満b ほぼ適切である。
	評估	面値	0%	評価値が80%未満c 他の評価に該当しない。
	評	定	С	「15、16」の項目に該当d やや不適切である。
	評	点	0.0	「17」の項目に該当e 不適切である。
				●「15,16」の項目で二つ該当あればe評価とする。
				●評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
	Ⅱ. 工程管理	*		1 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。
				実施工程表の作成及びフォローアップ(実施工程表の修正等)を行っており、適切に工程を管理して2 いる。
				3 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。
				4 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。
				休日(夜間)作業がない。又は休日(夜間)作業承諾書が提出されている。(当初から休日(夜間)作業を 5 予定している場合は評価しない)
		*		6 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。
				7 「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について判定欄に×が無い。
				8 その他()
				9 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。⇒d評価(やや不適切である。)
				10 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった⇒e評価(不適切である)
	該当功	頁目数	0	評価値が90%以上a 適切である。
	評価対	象項目	2	評価値が80%以上90%未満b ほぼ適切である。
	評信	面値	0%	評価値が80%未満c 他の評価に該当しない。
	評	定	С	「9」の項目に該当d やや不適切である。
	評	点	0.0	「10」の項目に該当e 不適切である。
				●評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

評価項目	細	目 	項目 選択	監督員	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対	策	*		1 災害防止協議会等を毎月1回以上実施し、活動記録が整理されている。(下請業者がない場合は不要)
					2 店社パトロールを毎月1回以上実施し、活動記録が整備されている。
			*		3 安全教育及び安全訓練等を毎月半日以上実施し活動記録が整理されている。
			*		4 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映し、実施した記録がある。
			*		5 過積載防止に取り組んでおり、記録が整理されている。
					建設機械等の安全運転のための点検、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置等安全対策がな6 されている。
					7 仮設工事(土留、足場、支保工等)の点検及び管理をチェックリスト等を用いて実施している。
					8 交通保安施設等の設置及び管理が適切であり、チェックリスト等により点検を実施し、記録がある。
			*		9 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。
					10 地下埋設物、架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。
					11 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全管理について判定欄に×が無い。
					12 その他()
					請負者の安全管理措置が不適切なため、労働災害及び公衆災害が発生した場合の評定は総括監督員 13 が行うが、死亡事故の場合は、上記1~12の項目評定の評価にかかわらずc評価とする。
					14 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示(※)を行った。⇒d評価(やや不適切である)
					15 安全対策に関して監督職員からの文書による改善指示(※)に従わなかった⇒e評価(不適切である)
					(※)労働災害及び公衆災害が発生したことによる、事後の文書による改善指示は対象としない。
		該当項	目数	0	評価値が90%以上a 適切である。
		評価対象	東項目	5	評価値が80%以上90%未満b ほぼ適切である。
		評価	値	0%	評価値が80%未満c 他の評価に該当しない。
		評	定	c	「13」の項目に該当c 災害等の文書改善指示は総括監督員の評価である。
		評	点	0.0	「14」の項目に該当d やや不適切である。 -
					「15」の項目に該当e 不適切である。 ●評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価、評価対象項目数が7項目以下の場合90%以上でもb 評価とする。
	IV. 対外関	係	*		1 関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録があり、トラブルの発生が無い。
					2 地元との必要な調整を行い、工事の施工に関しての苦情等に対して適切に対応し、記録がある。
					3 第三者からの苦情に対して適切な対応を行い、記録がある。
					4 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組み、記録がある。
			*		5 工事の目的及び内容を、工事看板等により地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。
					6 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について判定欄に×が無い。
					7 その他()
					8 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。⇒d評価(やや不適切である)
					9 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった⇒e評価(不適切である)
	ſ	該当項	目数	0	評価値が90%以上a 適切である。
		評価対象	東項目	2	評価値が80%以上90%未満b ほぼ適切である。
		評価	値	0%	評価値が80%未満c 他の評価に該当しない。
		評	定	С	「8」の項目に該当d やや不適切である。
		評	点	0.0	「9」の項目に該当e 不適切である。
					●評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価、評価対象項目数が3項目以下の場合90%以上でもb評価とするでもb評価とする。

評価項目	細	目	項目選択	監督員	評価対象項目
3. 出来形及	I. 出来形	<u> </u>			
び出来栄え	出来形管 値が10点 場合、測	以上ある			出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値 1 を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。⇒a評価とする。
	格値に対 つきを基	するばら			出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値 2 を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。⇒b評価とする。
	る。				3 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値 3 を満足し、a及びbに該当しない。⇒c評価とする。
					出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。⇒d評価 ⁴ (やや不適切である)
					5 契約書に基づき、監督職員が改造請求を行った。⇒e評価(不適切である)
	出来形の活数等が少れ	量(10点	*		出来高管理が容易に把握できるよう、出来形管理表(出来形成果表)作成していることが確認でき 6 る。
	未満)で、 定値のば		*		7 不可視部分の出来形が写真で的確且つ明確に確認できる。
	けでの確 十分な工	認では不 事につい	*		8 受注者の管理基準に基づき管理していることが確認できる。
	ては、右 11の項目	記の6~ で評価す	*		9 写真管理基準の管理項目を満足している。
	11の項目で評価る。	С н (рад)	*		10 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが 確認できる。
					11 その他()
		該当項	目数	0	評価値が90%以上a 適切である。
		評価対象	項目	5	評価値が80%以上90%未満b ほぼ適切である。
		評価位	直	0%	評価値が80%未満c 他の評価に該当しない。
		評	定	c	「4」の項目に該当d やや不適切である。
		評	点	0.0	「5」の項目に該当e 不適切である。
	нт				●6以降の評価項目で評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価、評価対象項目数が5項目以下の場合は該当項目90%以上でもb評価とする。
	Ⅱ. 品質				
	Ⅱ. 品質 品質管理の測定が10点以上ある: 合、測定値の規				品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を 1 満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。→a評価とする。
	値に対する	るばらつ			品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を 2 満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。⇒b評価とする。
	<i>∕</i> ∂∘				品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を 3 満足し、a及びbに該当しない。⇒c評価とする。
					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。⇒d評 ⁴ 価(やや不適切である)
					5 契約書に基づき、監督職員が改造請求を行った。⇒e評価(不適切である)
	品質の測算 等が少量	(10点未	*		6 品質管理方法が施工計画書に明確に定められ、定められた品質管理計画により管理されている。
	満)で、そ 値のばら [*]		*		7 材料の品質証明が適切である。
	での確認	では不十	*		8 設計図書で定められていない品質理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認 できる。
	分な工事に	D6∼11	*		9 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。
	の項目で る。	計1四 9	*		10 品質管理試験や施工品質確保状況等の写真記録が適切である。
					11 その他()
		該当項	日数	0	評価値が90%以上a 適切である。
		評価対象		5	評価値が80%以上90%未満b ほぼ適切である。
		評価値		0%	評価値が80%未満c 他の評価に該当しない。
		評		C	「4」の項目に該当d やや不適切である。
		評		0.0	「5」の項目に該当e 不適切である。
		41 /		v	●6以降の評価項目で評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価、評価対象項目数が5項目以下の場合は該当項目90%以上でもb評価とする。

				評価必須項目
評価項目1		凡例	J	工事により対象となる項目
評価項目1				評価対象項目には加えない
評価項目	細目		監督員	技術力キーワード一覧表
5. 創意工夫	キーワード評価	Щ		■施工関係
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫
	該当項目の概要 由欄に記載の事			2 コンクリート二次製品等の代替材の利用に関する工夫
	H IMTEROTA			3 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫
				4 部材並びに機材等の運搬及び吊り方法等の施工方法に関する工夫
				5 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫
	理由:			6 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫
				7 照明等の視界の確保に関する工夫
				8 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫
				9 運搬車両、施工機械等に関する工夫
				10 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留等の仮設工に関する工夫
				11 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫
				12 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫
				13 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫
				14 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫
				15 ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事
				※本項目は2点の加算とする
				※ 発力は42点の加鼻でする 16 特殊な工法や材料を用いた工事
				10 特殊な工伝で材料を用いた工事
				18 情報共有システム、又は電子納品非対象案件であるが、受発注者協議の上情報共有システムを利用 又は電子納品を行った。
				※本項目は2点の加算とする
				19 その他(理由)
	√ 11 ⊥			- 1 000 K
	理由:			■品質関係
				20 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫
				21 コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫
				22 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫
				23 配筋・溶接作業等に関する工夫
				24 その他(理由:)
	理由:		 	■安全衛生関係
	注 田·			■安王俐王関係 安全を確保するための仮設備等に関する工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、 25 手摺、足場等)
				- 26 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫
				27 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫
				28 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫
				29 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫
				30 厳しい作業環境の改善に関する工夫
				31 環境保全に関する工夫
				32 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している
				※本項目は2点加点とする
				33 その他(理由:)
			 	
				34 その他(理由:)
				35 その他(理由:)
				36 その他(理由:)
記述評	価		<u></u>	50 その個(英山・ /
	キーワード項目	につい		・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
て、評価項	目を詳細記述】			・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。
				・1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
				・加点は+7点〜0点の範囲とする。 1
	該当	i項目合計	0	
		評点	0	小計(項目×1点or2点)7点以内

総括評定

	評価必須項目
凡例	工事により対象となる項目
	評価対象項目には加えない

		項目	選択欄に	評価対象項目には加えない こより評価対象としない項目は*を外す
評価項目	細目	項目 選択	総括	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	*		1 緊急、応急工事等特に工期的な制約がある場合において、余裕を持って工事を完成させた。
		*		2 隣接する他の工事等との工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。
		*		3 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた
		*		工程管理を適切に行った事により、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する 4 好印象を与えた。
		*		5 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。
		*		工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕を持って工事を 6 完成させた。
				7 その他()
				8 自主的な工程管理がなされず、監督職員から文書により改善指示を行った。
				9 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。(但し、改善指示による場合を除く)
	該当項目	自合計	0	評価項目が5項目以上a 優れている。
	評	価	c	評価項目が3項目以上4項目以下b やや優れている。
	評	点	0	評価項目が2項目以下c 他の評価に該当しない。
				「8」の項目に該当d やや劣っている。
				「9」の項目に該当e 劣っている。
	Ⅲ. 安全対策	*	<u> </u>	1 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。
	皿. 女主刈水			2 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。
		*		
		*		3 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。
		*		4 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。
		*		5 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。
		*		6 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。
				7 その他()
				8 安全管理に関する現場管理又は防災体制が不適切であった。 ※労働災害や公衆災害において、負傷者の発生又は建物等の損害に関して、請負者の安全管理の措置に不適切があったもので、口頭注意処分以上を対象とする。⇒d 評価(やや不適切である)
				9 安全対策の不備により重大な災害を受けた。 ※労働災害や公衆災害において、死亡事故に関して、請負者の安全管理の措置に不適切があったものを対象とする。⇒e 評価(不適切である)
	該当項目	自合計	0	評価項目が5項目以上a 優れている。
	評	価	c	評価項目が3項目以上4項目以下―b やや優れている。
	評	点	0	評価項目が2項目以下c 他の評価に該当しない。
				「8」の項目に該当d やや劣っている。
				「9」の項目に該当e 劣っている。
-				

評価項目	細目	総括	技術力キーワード一覧表
4. 工事特性	キーワード評価		■構造物の特殊性への対応
	該当項目の概要を各 目下段理由欄に記載 こと		1 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 理由:
			2 対象構造物の形状が複雑であること等から、施工条件が特に変化する工事 理由:
			3 その他(理由:)
			※上記項目に一つ以上該当は4点の加点
		-	■厳しい自然・地盤条件への対応
			4 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 理由:
			5 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 理由:
			6 急峻な地形及び土石流危険渓流内・急傾斜地崩壊危険個所での工事 理由:
			7 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 理由:
			8 その他(※上記項目に一つ以上該当は4点の加点 ■都市部等の作業環境、社会条件等への対応
			■都市部等の作業環境、社芸栄件等への対応 9 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 理由:
			10 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 理由:
			11 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 理由:
			12 現道上での交通規制に大きく影響する工事 理由:
			13 緊急時に対応が特に必要な工事 理由:
			14 施工箇所が広範囲にわたる工事 理由:
			15 その他(理由:) ※上記項目に一つ以上該当は6点の加点
			■長期工事における安全確保への対応 16 12ヶ月を超える工期で、事故が無く完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く
			17 その他(理由) ※上記項目に一つ以上該当は6点の加点
	┗ 評価 キーワード項目につレ 容を詳細に記述】)	・工事特性は、最大20点の加点評価とする ・監督員が評価する「創意工夫」との二重評価はしない
	評点	0	小計20点以內

評価項目	細目	項目 選択	総括	評価対象項目
. 社会性等	I. 地域への貢献等	*		1周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。
		*		現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図っ 2 た。
		*		定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミニュケーションを図っ 3 た。
		*		4 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。
		*		5 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。
		*		6 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。
				7 その他(理由:)
	該当項目	合計	0	評価項目が6項目以上a 優れている。
	評	価	c	評価項目が5項目に該当a'bより優れている。
	評 .	点	0	評価項目が3項目以上4項目以下の場合b やや優れている。
				評価項目が1項目以上2項目以下の場合b'cより優れている。
				評価項目が無い場合c 他の評価に該当しない。
,				

考査項目	細 目	総括	法令遵守等の該当項目一覧表	
). 法令遵守等 []法令遵守	-		措置内容	点数
以伝行遵守			1 本件工事に関して入札参加停止3か月以上又は入札参加除外	-10点
			2 本件工事に関して入札参加停止2か月以上3ヶ月未満	-8点
			3 本件工事に関して入札参加停止1か月以上2カ月未満	-6点
			4 本件工事に関して入札参加停止要綱上の警告	-4点
			5 本件工事に関して入札参加停止要綱上の注意喚起	-2点
			6 文書注意	-4点
			7 口頭注意	-2点
			工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭 8 注意以上の処分がなかった場合(不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含 まない。)	-1点
	評 点			
考査項目	細 目	総括	技術提案の履行	点数
②-1総合評価方式に おける技術提案の履	技術提案		1 達成率90%~100%未満	- 3/ ///
0-1総合評価方式に はつる技術提案が履 にでは少まります。 でに少ましたエ でに少ましたエ ではかます。 0-2総合評価方式 【平成23年4月1日以 に公告した工事】	(技術評価点		2 達成率70%~90%未満	-5点
<u> </u>	~~~)		3 達成率70%未満	
②-2総合評価方式 【平成23年4月1日以 降に公告した工事】 実績申告型工事	(1)技術提案		4 達成率75%~100%未満	-3点
	(提案項目の 加算点ベー		5 達成率50%~75%未満	-5点
	ス)		6 達成率50%未満	-10点
	(2)施工計画		施工計画の内、主要工種の現場着工日において、準備工及び総合評価の作成要領に 7 定める主要工種の現場着工日が、請負者の責により同要領に定める期間以上に遅延 した場合	-3点
	(3)市内企業 への下請		市内企業への下請けについて、評価を受けた場合で、完成時に一次下請け契約額の 8 総額に占める市内企業の契約額の合計が、総合評価の作成要領に定める率を下回っ た場合	-5点
	(4)地域貢献度		機械保有の評価を受けた場合で、請負者が本工事の契約期間中に機械を他の者に売 9 却・譲渡、若しくは処分してたことが発覚した場合	-5点
	評 点			
	9. ①又は9. ②	のに該当	する総合評価方式により評価すること。	
	工事毎に項目	が異な	るため別に定める運用基準等で評価すること。	
考査項目	細 目	総括	情報共有・電子納品の履行	点数
③情報共有・電子納 品の履行	電子納品対象とされた工事		1 情報共有システムを有効に活用していない	-0.2点
	について評価する		2 電子納品チェックリストが適時、的確に作成されていない	-0.2点
	, 3		3 電子納品成果物が、電子納品要領に従って作成されていない	-1点
	評 点			

				評	価必須項目	項目選択欄により評価対象としない項目は*を外す					
検る	E 員評定	凡例		Ι.	事により対象となる項目						
				評	価対象項目に加えない						
評価項目	細目	選択 項目	検査員			評価対象項目					
2. 施工状況	I.施工管理	*		1	施工体制台帳及び施工体系	図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる					
		*		2	2 工事の関係書類が不足なく作成されていることが確認できる						
		*		3	着手に先立ち設計図書の照査を行っていることが確認できる						
		*		4	工事期間を通じて、施工計	一画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる					
		*		5	施工計画書が工事着手前に 現場条件を反映したものと	提出され、所定の項目が記載されていると共に、設計図書の内容及び なっている事が確認できる					
		*		6	現場条件又は計画内容に変 ている事が確認できる	(更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書等を提出し					
		*		7	工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる						
		*		8	使用材料、機器の品質証明書等又は工事記録写真等が適切に整理されている						
		*		9	立会確認の手続きを事前に	行っていることが確認できる					
		*		10	下請けに対する引取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。						
		*		11	建設副産物の再利用等への	取り組みを行っていることが確認できる					
		*		12	社内の管理基準に基づき管	理している事が確認できる					
		*		13	品質証明体制が確立され関 確認できる	3係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に渡って行っていることが					
				14	その他()					
				15	施工管理について、監督職	員が文書による改善指示を行った。⇒ d評価					
				16	施工管理について、監督職	場員からの文書による改善指示に従わなかった。⇒ e評価					
	該当項	目数	0	Ī	評価値が90%以上	a 施工管理が優れている。					
	評価対象	項目	13		評価値が80%以上90%未満b 施工管理がやや優れている。						
	評価	値	0%		評価値が80%未満一	c 他の事項に該当しない					
		定	c	J	「15」の項目に該当d 施工管理がやや不備である						
	評	点	0.0]	2 2	e 施工管理が不備である					
	•				●評価対象項目数が2項目	以下の場合はc評価とする。					

3. 出来形及び出来栄え	I.出来形			1	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定該当項目」の4項目以上が該当する。a評価とする
	測定値が少数(10点未満 の場合は、下記評価項目 (6~11)での評価とし、 この項目による判断はし			2	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定該当項目」の3項目以上が該当する-a'評価とする
	ない。 出来形管理の 測定値が10点以上ある場 合は、測定値の規格値に 対するばらつきを基に、			3	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定該当項目」の3項目以上が該当するb評価とする
	下記該当項目数を加味 し、1から5の項目で最終 評価とする。			4	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定該当項目」の2項目以上が該当する-b'評価とする
				5	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しないc評価とする
	6から11の項目で該当す る項目を評価する。	*		6	出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認 できる
		*		7	不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる
		*		8	社内の管理基準に基づき管理している事が確認できる
		*		9	写真管理基準の管理項目を満足し、且つ画像は明瞭である。
		*		10	出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる
				11	その他()
				12	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された⇒ d評価
				13	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った⇒ e評価
	該当項目	目数	0		
	評価対象	項目	5		出来形管理項目が設定されていない工事は「 c 」評価とする $6\sim11$ の評価項目で判定する場合、評
	評価値		0%		価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。
	評 気		С	Į	評価値が90%以上a 出来形が特に優れている。
	評点	点	0		評価値が80%以上90%未満a'出来形が優れている。
					評価値が70%以上80%未満b 出来形が特に良好である。
					評価値が60%以上70%未満b'出来形が良好である。
					評価値が60%未満c 他の事項に該当しない
					評価項目だけでの評価は90%以上該当でも a'評価とする。

評価項目	細	目	項目 選択	検査員				評価対象項目						
3. 出来形及	Ⅱ. 品質		迭扒											
び出来栄え	1	コンクリー 事	ート構	造物工	10	防護柵(網)・樹 等設置工事	標識・区画線	18	コンクリート橋工事(PC及 びRCを対象)					
右記の工事 から主とな る工事を三	2	舗装工事			(1)	道路の新設、改	女良	19	盛土築堤等工事・ため池工 事等(ジオテキスタイルエ 事含む)					
工種程度選んで採点計	(3)	下水道工	事		(12)	維持修繕工事		20	共同溝シールド工事					
算の直接工 事費列に入	4)	管水路工具	事		12	取壊し工事		20	補強土工事					
力する。	5	仮設工事			13	護岸・根固・カ	く制工事	<u>a</u>	農道・林道等の新設、改良					
	6	土工事(切 堤等工事	J土、星		14)	砂防構造物工事 り防止工事(集 を含む)		(b)	電線共同溝工事(管路布設工事)					
	7	塗装工事			15	法面工事		©	上水道工事(管布設)					
	8	植栽工事			16	基礎工工事(地 含む)	盤改良等を							
	(9)	造園工事	・施設	緑化工	(17)	鋼橋工事								
3. 出来形及	0	事 品質			Τ			「評価対象」	1					
び出来栄え		ート構造			コンクリー	トの配合試験及	7ド試験練を行		ンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材料					
	物工事	1 117/12	*		1 径・塩化物	総量、単位水量	、アルカリ骨	材反応抑制等)が確認できる					
			*		2 が確認でき		に必要な試験	を実施してお	り、温度、スランプ、空気量等の測定結果					
			*						現場の供試体であることが確認できる					
			*						高さ及び締固め方法が、定められた条件を リート等を含む)					
			*		コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行って 5 いることが確認できる									
			*			コンクリート打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる								
			*		コンクリー			有害部が鉄筋	に付着しないよう管理している事が確認~					
			*		_	9 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足している事が確認できる								
			*		10 圧接作業に	当たり、作業員	の技量確認を	行っている事	が確認できる					
			*						る事が確認できる している事が確認できる					
			*		13 有害なクラ		\							
			<u></u>		14 その他(■品質関	係の試験結果の	<u>/</u> ばらつき(下部		 ず選択する事)					
						試験結果のばら			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
						試験結果のばら								
					17 品質関係の	試験結果のばら	つきが80%を	超えている						
					18 品質関係の	試験結果のばら	つきで判断不	可能である						
			ļ		■品質関	係に関する減点	項目(該当があ	られば選択する	3)					
					19 品質関係の	測定方法又は測	定値が不適切	であったため	、監督職員が文書で指示を行い改善された					
					-a 品質関係の				、検査職員が補修指示を行った					
		該当項	目数	0	-е									
		評価対象	項目	13					い場合は評価対象項目(評価値)だけで評価					
		評価値	直	0%	することと	し、「18」品質	関係の試験結	果のはらつさ	で判断不可能である」を選択する					
		評		c					目以下の場合はc評価とする。5項目以下の					
		評 /	点	0. 0	場合は、評	価値が90%であ	つしも、a , b,	XIAD C90	0					
		1				<u> </u>	っつきで判断可	1	ばらつきで判断不可能					
				C	0%以上	50%以下 a	80%以下 a'	80%を超える b	b					
			評	لِ%75	人上90%未満	a'	b	b'	b'					
			価値		以上75%未満 (上60%未満	b b'	b' c	c c	c c					
					50%未満	С			•					

評価項目	細目	項目選択	検査員				評価対象項目				
3. 出来形及	Ⅱ品質	X21/1		【路床・路盤】	[関係]						
び出来栄え		*		1 設計図書に	定められた試験	検方法でCBR値る	を測定している	ことが確認できる			
	舗装工事	*		2 路床及び路	盤工のプルフロ	ューリングを行	っている事が確	産認できる			
		*		3 路床及び路	盤工の密度管理	型が、設計図書	の仕様を満足し	している事が確認できる			
		*		4 路盤の安定	処理は材料が均	可一になるよう	施工している事	事が確認できる			
		*		5 路盤の施工 確認できる	に先立って、路	8床面、下層路	盤面の浮石及び	が有害物を除去してから施工	している事が		
		*		6 路床盛土に認います。	おいて、一層の)仕上がり厚を	20cm以下とし、	各層ごとに締固めて施工して	ている事が確		
		*		7	おいて、構造物 している事が確		狭い箇所におり	する締固めが、タンパ等の小	型締固め機械		
				8 その他(,)					
				【アスファル】	・舗装工関係】						
		*		9 アスファル 認できる	ト混合物の品質	ぼが、配合設計	及び試験練の約	吉果又は事前審査制度の証明	書類により確		
		*		10 プラント出る事が確認		青時、舗設時等	においた、アス	スファルト混合物の温度管理	を記録してい		
		*		11 舗設後の交	通解放が定めら	っれた条件を満	足している事だ	が確認できる			
		*		12 各層の継ぎ	目の位置が、影	と計図書に定め	られた数値以」	上である事が確認できる			
		*		13 縦継目及びている事が		構造物との接	合面の処理等な	び、設計図書等に定められた。	条件を満足し		
		*		14 アスファル	ト混合物の運搬	没及び舗設に当	たって、気象多	条件を配慮している事が確認。	できる		
				15 アスカーブ	の施工において	て、細やかな配	慮がなされ、	「寧に施工されている			
		*		16 路肩処理、	縁端処理の施工	こにおいて、細	やかな配慮がた	なされ、丁寧に施工されてい <i>。</i>	る		
		*		17 舗装工の施	工にあたって、	上層路盤面の	浮石等の有害物	勿を除去している事が確認で	きる		
		*		18 密度管理が	設計図書の仕様	後を満足してい	る事が確認でき	きる			
				19 その他(,)					
				【コンクリート舗装関係】							
	*						っており、コン 材反応抑制等)	νクリートの品質(強度・w/c が確認できる	・最大骨材粒		
		*		21 舗装工の施工	に先立って、上	:層路盤面のの浮	石等の有害物を	除去して施工している事が確認	できる		
		*		22 コンクリー が確認でき		寺に必要な試験	を実施しており)、温度、スランプ、空気量	等の測定結果		
		*		23 圧縮強度試	験に使用したニ	コンクリート供	試体が当該現場	易の供試体である事が確認で	きる		
		*		24 運搬時間、 た条件を満	打設方法及び養 足している事か	を生方法が施工	条件および気象	象条件に適しており、設計図	書に定められ		
		*					き均している!	事が確認できる			
		*		26 チェアー及	びタイバーを推	員傷等が発生し	ないよう保管し	している事が確認できる			
				27 その他(,)					
		ı					記4項目から必っ	げ選択する事)			
				28 品質関係の							
				29 品質関係の			*				
				30 品質関係の							
				31 品質関係の				\			
		ı					あれば選択する	•	12- 1		
								職員が文書で指示を行い改善さ			
	mile v te -	五五 口 本,		33 品質関係の測	川疋万法乂は測定	個か不適切であ	っったため、検査	職員が修補指示を行った	е		
		項目数	0								
		対象項目	23					ヽ場合は評価対象項目(評価値 で判断不可能である」を選択っ			
	評価値 0% 評 定 c				_						
	評	-	0. 0				象項目数が2項目 a',b又はb'とす	目以下の場合はc評価とする。 ける	5項目以下の		
					ば	らつきで判断す	可能	No. 2 adullar and the			
					50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能			
			9	0%以上	a	a'	b	b			
		評	75%L	人上90%未満	a'	b	b'	b'			
		価値		人上75%未満	b	b'	c	c			
		1122		.上60%未満 50%未満	b' c	С	С	c			
			,	2.50 E 1 P. 1 P. 10	v						

評価項目	細目	項目選択	検査員				評価対象項目				
3. 出来形及	Ⅱ品質	X21/		【共通】							
び出来栄え		*		1 マンホール	用品等の規格・	品質がミルシ	/ート等で確認で	きる。			
	下水道工事	*		2 管渠等の規	格・品質がミル	シート等で確	確認できる。				
		*					大験及び試験練が は等)が確認できる	行われており、適切なコン る	クリートの規		
		*		4 コンクリー	ト打設時の必要	な供試体を採	採取し、強度・ス	ランプ・空気量等が確認で	きる。		
		*		5 コンクリー	ト供試体が当該	現場の供試体	エである事が確認	できる			
		*		e			引、打設時の投入 及び暑中コンク!	高さ、締固め時のバイブレ リート等を含む)	ータの機種、		
				7 その他()						
				【開削工】							
		*		8 埋戻しを適	切な条件で施工	しており、管	ぎの周辺に空隙が	生じていない			
		*		9 矢板・支保	工等の使用が適	i切であること	が確認できる。				
		*		10 管渠の接合	・敷設状況が良	好である事か	3確認できる				
				11 その他()						
				【推進工】							
		*		12 測量及び観	測結果を毎日整	き 理し、それに	基づいた施工が	行われている事が確認でき	る		
		*		13 常に切羽及	び地表面の状態	を測定して施	正工されている事	が確認できる			
		*		14 推進作業等	がデータで確認	いできる					
		*		15 地盤改良工	の施工管理状況	上がデータで確	産認できる				
				16 その他()						
				【シールド工】							
		*		17 セグメント	の規格・品質が	ミルシート等	で確認できる				
		*			あたり、作業員						
		*		-	二次コンクリート打設時に、付着物除去のための十分な水洗清掃を行っている事が確認できる 常に切羽及び地表面の状態を観察して施工されている事が確認できる						
	*							が確認できる			
		*			進作業等がデー		*る				
		*			状況がデータで						
		*			の施工管理状況		確認できる ニュー				
				24 その他()			Name I = Nove I = N			
		ĺ					記4項目から必ず	・選択する事)			
					試験結果のばら						
					試験結果のばら						
					試験結果のばら						
					試験結果のばら						
		ĺ			71 1247 3 174	. , , , , , , , , , , , ,	あれば選択する)	職員が文書で指示を行い改善さ	hた_d		
								戦員が又書で指示を行い以書さ 戦員が修補指示を行った			
	該当項	日数	0	00世界は下がた	ハルルルム人は例と	iE4・17/00 9/1 ぐる	ッ フィニィニ º/ノ、 1円 <u>目</u> 引	Manual 10 10 10 10 10 10 10 10			
	評価対象		20	₹ 1000 1	細点はないます。	ノげとっキュ	/ 本川体によら~ベ ナ・ナ・ハ・	相人)计证证与布在口/部位/	ちなけっまった		
	評価		0%		0.47 - 10- 4			・場合は評価対象項目(評価値 *判断不可能である」を選択	_, ,		
	評		C	亚 届 計 色 百	·日 「1~94」の	うち 証価針	免頂日粉が9項ロ	以下の場合はc評価とする。	5項目い下の		
	評		0. 0				泵項日級か2項日 a',b又はb'とす		10年日以下の		
					ばに	うつきで判断	可能	. 10			
					50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能			
			g	0%以上	а	a'	b	b			
		評	يا 75%	人上90%未満	a'	b	b'	b'			
		価	لِـ%60	人上75%未満	b	b'	С	С			
		値	50%以	上60%未満	b'	С	С	С			
				50%未満	С				•		
						ı					

評価項目	細	目	項目 選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質				【共通】								
び出来栄え			*		1 仕様書等で	定められた品質	賃管理実施され	ている					
	管水路工		*		2 材料の品質	規定証明書が鏨	を備されている)					
			*		3 中心線の通	りがよい							
			*		4 仕様書で示	す条件により約	帝固めが実施さ	れている					
			*		5 管の両端が	均等に埋め戻る	られている事か	確認できる					
			*		6 地盤面、基準	盤面に不陸が生	とじていない事	が確認できる					
			*		7 管の吊り込む	み、据付の際に	こ十分な注意を	:払っている事が	確認できる				
			*		8 コンクリー	ト構造物にきぬ	り細やかな施口	こがうかがえる。					
					9 その他()						
					■品質関係 <i>0</i>)試験結果のば	らつき(下記4	項目から必ず選	択する事)				
					10 品質関係の	試験結果のばら	っつきが50%以	(下である					
					11 品質関係の	試験結果のばら	っつきが80%以	(下である					
				12 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている									
					13 品質関係の	試験結果のばら	っつきで判断不	ド 可能である					
					■品質関係に	2関する減点項	目(該当があれ	ιば選択する)					
					14 品質関係の測	定方法又は測定	Z値が不適切でる	あったため、監督耶	厳員が文書で指示を行い改善さ	れた-d			
					15 品質関係の測	定方法又は測定	Z値が不適切でる	かったため、検査耶	職員が修補指示を行った	е			
		該当項	目数	0									
		評価対象	項目	8		試験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価							
		評価	値	0%	することと	し、「13」品質	質関係の試験 約	手果のばらつきで	*判断不可能である」を選択	する			
		評 ;	定	c					以下の場合はc評価とする。	5項目以下の			
		評	点	0.0	場合は、評価	価値が90%以」	こであっても、	a',b又はb'とす	- S				
						•				-			
							らつきで判断	可能	ばらつきで判断不可能				
						50%以下	80%以下	80%を超える					
				ć	90%以上	a	a'	b	b				
			評	, ,	以上90%未満	a'	b	b'	b']			
			価値		以上75%未満	b	b'	c	c]			
			胆	50%以	以上60%未満	b'	С	c	С]			
					50%未満	c							

評価項目	細	目	項目選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質		, C 7 (【共通】								
び出来栄え			*		1 仮設材にそ	り、ゆがみ、	傷がない						
	仮設工工	事	*		2 仮設材の組	立・設置が確	実になされ、	且つ点検も行われ	にいる				
			*		3 周辺環境(騒音・振動・	地盤変動等)に	上配慮した施工方	法で実施している				
			*		4 施工記録等	により設計条	件に適合した	根入れ長で実施さ	れている事が確認できる				
			*		5 排水を考慮	し、良好な床	付け面を確保	している					
					6 その他()						
					■品質関係の	の試験結果のに	ばらつき(下記	4項目から必ず選	択する事)				
					7 品質関係の	試験結果のば	らつきが50%	以下である					
					8 品質関係の	試験結果のば	らつきが80%	以下である					
					9 品質関係の	試験結果のば	らつきが80%	を超えている					
					10 品質関係の	試験結果のば	らつきで判断	不可能である					
					■品質関係	こ関する減点に	頁目(該当があ	れば選択する)					
					11 品質関係の測	制定方法又は測	定値が不適切で	あったため、監督	職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d			
					12 品質関係の測	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行ったe							
		該当項	目数	0									
		評価対象	東項目	5		、大験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価 することとし、「10」品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択する							
		評価	値	0%	することと	し、「10」品	質関係の試験	結果のばらつきて	『判断不可能である』を選択	する			
		評	定	c					以下の場合はc評価とする。	5項目以下の			
		評	点	0.0	場合は、評	価値が90%以	上であっても	、a',b又はb'とす	-S				
						•		•		T			
						V	ばらつきで判 め	行可能	ばらつきで判断不可能				
						50%以下	80%以下	80%を超える		ļ			
					10%以上	а	a'	b	b				
		部			以上90%未満	a'	b	b'	b'	ļ			
		価値	, , ,	以上75%未満	b	b'	c	c	ļ				
			呾		人上60%未満	b'	c	c	c]			
					50%未満	С							

評価項目	細目	項目選択	検査員	評価対象項目
3. 出来形及び出来栄え	Ⅱ品質	*		1 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している事が確認できる
の田米末え		*		2 段切りを設計図書に基づき行っている事が確認できる
	土工事(切土、盛	*		3 置き換えのための掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施工している事が確認できる
	土、築堤等工事)	*		4 締固めが設計図書に定められた条件を満足している事が確認できる
		*		5 一層あたりのまき出し厚を管理している事が確認できる
		*		6 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っている事が確認できる
		*		7 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っている事が確認できる
		*		8 土羽土の土質が設計図書を満足している事が確認できる
		*		9 CBR試験等の品質管理に必要な試験を行っている事が確認できる
		*		10 法面に有害な亀裂が無い
		*		11 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足している事が確認できる
		*		12 切取法面において、落石等の危険がないように緩んだ転石、岩塊等が除去されている
		*		13 残土の処理が適切に実施されている
				14 その他 ()
				■品質関係の試験結果のばらつき(下記4項目から必ず選択する事)
				15 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である
				16 品質関係の試験結果のばらつきが80%以下である
				17 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている
				18 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である
				■品質関係に関する減点項目(該当があれば選択する)
				19 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d
				20 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行ったe

試験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価することとし、「18」品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択する

評価対象項目「 $1\sim14$ 」のうち、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。5項目以下の場合は、評価値が90%以上であっても、a',b又はb'とする

該当項目数	0
評価対象項目	13
評価値	0%
評 定	c
評 点	0.0

		ば	らつきで判断す	丁能	ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	はりづきて刊劇作り記
	90%以上	a	a'	b	b
評	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
価	60%以上75%未満	b	b'	c	c
値	50%以上60%未満	b'	c	c	С
	50%未満	С			

評価項目	細	Ħ	項目選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質		*		1 塗装作業に	あたり、塗布面	iを十分に乾燥	させて施工して	こいる事が確認できる				
び出来栄え			*		2 ケレンを入れ	念に実施してい	いる事が確認で	きる					
	塗装工事		*		3 天候状況の	確認、気温及で	が湿度の測定を	行い、塗装作業	きを行っている事が確認でき	る			
			*		4 塗料を使用	前に撹拌し、茗	F器の塗料を均	一な状態にして	こから使用している事が確認	できる			
			*		5 鋼材表面及	び被塗装面の汚	5れ、油類等を	除去し塗装を行	_{「っている事が確認できる}				
			*		6 塗料の空き	缶管理について	て、写真等で確	実に空である事	写が確認できる				
			*					れている事が確					
			*		8 溶接部、ボ きる	ルトの接合部、	構造の複雑な	部分について、	必要な塗膜厚を確保してい	る事が確認で			
			*		9 塗料の品質	が出荷証明書、	塗料成績書に	より製造年月日	1、ロット番号、色彩、数量	が確認できる			
					10 その他()						
					■品質関係 <i>0</i>)試験結果のば	らつき(下記4)	頁目から必ず選	択する事)				
					11 品質関係の	試験結果のばら	っつきが50%以	下である					
					12 品質関係の	品質関係の試験結果のばらつきが80%以下である							
					13 品質関係の	3 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 4 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である							
					14 品質関係の	試験結果のばら	っつきで判断不	可能である					
					■品質関係に	■品質関係に関する減点項目(該当があれば選択する)							
					15 品質関係の測	定方法又は測定	で値が不適切であ	ったため、監督	職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d			
	l				16 品質関係の測	定方法又は測定	!値が不適切である	ったため、検査	職員が修補指示を行った	е			
		該当項	目数	0									
		評価対象		9					・場合は評価対象項目(評価値				
		評価		0%	9 5 2 2 2	し、「14」 品質	1関係の試験結	未のほらつさく	で判断不可能である」を選択	9 5			
			定	С	10.0 10-00 4 0 4 0 7 0		2 - 1 11 11 11 11	東項目数が2項目 a',b又はb'とす	目以下の場合はc評価とする。	5項目以下の			
		評 .	点	0.0	一切では、計1	1	_ (Ø) (6)	a ,0X140 € 9	<i>ত</i>				
						ば	らつきで判断す	T能	げとって云如ばてゴか	[
						50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能				
					90%以上	a	a'	b	b	"			
		評	با 75%	以上90%未満	a'	b	b'	b'					
			価	لِ%60	以上75%未満	b	b'	С	С				
			値	50%以	人上60%未満	b'	c	С	c				
					50%未満	c		-					
							=						

評価項目	細	目	項目選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質		*		1 土壌硬度試	験及び土壌試験	検(PH)を実施し	施工に反映して	こいる				
び出来栄え			*		2 植生する樹	木に応じて、糸	食裕のある植穴	でを掘り植穴底部	『を耕している事が確認でき	る			
	植栽工事		*		3 活着が促さ	れるよう管理し	している事が確	€認できる					
			*		4 樹木等に損	傷、鉢崩れ等な	び無いよう保護	養生を行ってい	いる事が確認できる				
			*		5 樹木等の生	育に害のある智	 男男がいない	事が確認できる	5				
			*		6 施工完了後	、余剰枝の剪定	官、整形その他	2必要な手入れを	と行っている事が確認できる				
			*		7 肥料が直接	樹木の根に触れ	1ないよう均-	-に施肥している	ら事が確認できる				
			*		8 添木をぐら	つきが無いよう	設置している	事が確認できる	5				
			*		9 銘々板を視	認しやすい場所	斤に据付ている	事が確認できる	5				
					10 その他()						
					■品質関係の	の試験結果のは	らつき(下記4	項目から必ず選	択する事)				
					11 品質関係の	試験結果のばら	らつきが50%以	(下である					
					12 品質関係の	A質関係の試験結果のばらつきが80%以下である							
					13 品質関係の	品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている							
					14 品質関係の	試験結果のばら	らつきで判断不	で可能である					
					■品質関係/	■品質関係に関する減点項目(該当があれば選択する)							
					15 品質関係の測	則定方法又は測定	至値が不適切であ	あったため、監督	職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d			
					16 品質関係の測	川定方法又は測定	医値が不適切であ	かったため、検査時	職員が修補指示を行った	е			
		該当項	目数	0									
		評価対象	東項目	9					、場合は評価対象項目(評価値				
		評価	値	0%	することと	し、「14」品質	質関係の試験結	手果のばらつきて	で判断不可能である」を選択	する			
		評	定	С					目以下の場合はc評価とする。	5項目以下の			
		評	点	0	場合は、評	価値が90%以」	とであっても、	a',b又はb'とす	「 る				
						•		•		_			
						ば	らつきで判断す	可能	ばらつきで判断不可能				
						50%以下	80%以下	80%を超える	10.3 6 113.71 13.2	•			
					0%以上	а	a'	b	b	•			
		評価値		以上90%未満	a'	b	b'	b'					
			価値		以上75%未満	b	b'	c	c	.			
					人上60%未満	b'	c	c	c]			
					50%未満	С							

評価項目	細目	項目選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質	2217		【石工事・修景	景施設工】							
び出来栄え		*		1 使用材料の	品質管理を適り	刃に行っている	事が証明書等で	で確認できる				
	造園工事・施設緑	*		2 石材の規格	・寸法は適切で	である						
	化工事	*		3 使用材料の	品質管理に修身	景的配慮がされ	ている					
				4 その他()						
				【遊戯施設工】								
		*		5 遊具の品質	管理が仕様書通	重りである事が	び確認できる					
		*		6 遊具等の施	設の構造、形物	犬寸法、材質、	安全性が適切で	ぎある				
				7 その他()						
				■品質関係 <i>0</i>	の試験結果のば	らつき(下記4	項目から必ず選	択する事)				
				8 品質関係の語	品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である							
				9 品質関係の記	試験結果のばら	らつきが80%じ	「下である					
				10 113 113 113 1	0 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 1 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である							
		ı			こ関する減点項							
								職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d			
				13 品質関係の測	定方法又は測定	至値が不適切でま	あったため、検査国	職員が修補指示を行った	е			
	該当項	,	0									
	評価対象		5					・場合は評価対象項目(評価値で判断不可能である」を選択	_, ,			
	評価		0%	90-22	し、「14」回身		水りはりづきく	.刊剛作り配くめる」を選択	9 3			
		定	С				象項目数が2項目 a',b又はb'とす	以下の場合はc評価とする。	5項目以下の			
	評	点	0.0	<i>™</i> □ (3. 11)			a , 0 × 1 × 0 × 7	٠				
) , #	らつきで判断	T &L		•			
					50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能				
	 		Ç	90%以上	a	a'	b	b				
				以上90%未満	a,	b	b'	b'				
		評価		以上75%未満	b	b'	С	c				
	値			値	人上60%未満	b'	С	c	c			
				50%未満	С		ļ.		l e			
					ı							

評価項目	細目	項目選択	検査員					評価対象項目				
3. 出来形及 び出来栄え	Ⅱ品質	*			防護柵設置 できる	要綱、視線誘導	享標設置基準、	道路標識ハント	「ブック等の規定を満足してい	いる事が確認		
		*		2 -	ペイント式	(常温式)区画線		レンナーの使用量	量が10%程度以下である事が	雀認できる		
	防護柵(網)・標 識・区画線等設置	*			防護柵等の原 認できる	末堀の仕上がり)面において、	地山の乱れや不	、陸が生じないように施工し [、]	ている事が確		
	工事	*				基礎工の施工に	こあたって、魚	無筋及び鉄筋コン	/ クリートの規定を満足してい	ハる事が確認		
		*		5	防護柵等の	支柱の施工にあ	ったって、既記	公舗装面へ影響 が		確認できる		
		*		6 2	基礎設置個層		盤の地耐力を打	 巴握して、施工し	ている事が確認できる			
		*		7	防護柵の支	主の根入れ長か	ぶ設計図書の位	土様を満足してい	いる事が確認できる			
		*			ガードケー: 認できる	ブルを支柱に取	なり付ける場合	合、設計図書に定	ごめられた所定の張力を与え [、]	ている事が確		
		*		u u		ブルの端末支柱 である事が確認		置する場合、打設	としたコンクリートが設計図	書に定められ		
		*		10	区画線の厚	さが見本等で認	設計図書の仕様	兼を満足している	事が確認できる			
		*		11	区画線施工行	後の昼間及び夜	を間の視認性だ	ぶ、設計図書の仕	上様を満足している事が確認~	できる		
		*			区画線の施2 認できる	Iにあたって、	設置路面のス	k分、泥、砂塵及	びほこりを取り除いて行って	ている事が確		
		*		13 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が ることが確認できる								
		*										
		*		15 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足している事が確認できる								
				16	その他()					
					■品質関係の	対験結果のば	らつき(下記4	1項目から必ず選	択する事)			
				17 [品質関係の語	試験結果のばら	っつきが50%」	以下である				
				18 r	品質関係の記	試験結果のばら	っつきが80%」	以下である				
				19 1	品質関係の語	試験結果のばら	っつきが80%を	を超えている				
						試験結果のばら						
		ı		t		- 関する減点項						
									職員が文書で指示を行い改善さ			
	-1			22	品質関係の測	定方法又は測定	望値が不適切で	あったため、検査	職員が修補指示を行った	е		
	該当項		0									
	評価対象		15						ヽ場合は評価対象項目(評価値 ご判断不可能である」を選択っ			
	評価位		0%		9 2 2 2 2		1月 アンドック かくめてか	日本のはりりさく	、刊別から配とめる」を選択し	9 3		
	評		С					象項目数が2項目 a',b又はb'とす	Ⅱ以下の場合はc評価とする。 -ス	5項目以下の		
	評り	<i>H</i>	0.0	1	<i>,,,,</i> □ 10 (□ 11	岡尼200705 73	_ (0) (0 (u , 5)(165 C)	Δ			
						/ギ	らつきで判断	art 46	1			
						50%以下	80%以下	^{円配} 80%を超える	ばらつきで判断不可能			
			C	90%.	CI F		80%以下 a'	6070を超える b	b			
					90%未満	a a'	b	b'	b'			
		評価			75%未満	b	b'	С	c			
		値			60%未満	b'	С	c	c			
				50%5		С	Ŭ	·	-			
					. 164	v						

評価項目	細目	項目	検査員				評価対象項目						
3. 出来形及	Ⅱ品質	迭扒		■共通									
び出来栄え		*		1 土工、コン	クリート工等、	仕様書に定め	られた品質管理	型が実施されている					
	道路の新設、改良	*		2 材料の品質	及び形状が設ま	+図書等との適	- 切性確認ができ	、証明書が整備されている					
		*		3 位置、縦断	勾配等が設計図	図書等に従い適	 i切に施工されて	こいる					
				4 不可視部分	の写真記録が通		態が明瞭に撮影	/ /されている。					
				■土工									
		*		5 雨水による	崩壊が起こらな	ないように、排	:水対策を実施し	ている事が確認できる					
		*		6 敷き均し転	圧を適切な条件	‡で施工してい	る事が確認でき	きる					
		*		7 構造物周辺	の締固めが仕様	養書等で示す条	:件で施工されて	こいる					
		*		8 筋芝工又は	種子吹付等が通	適切に施工され	ている事が確認	見できる					
		*		9 地盤改良工	.(固化材等)の加	施工が仕様書等	に従い実施され	にている					
				10 その他()							
				■コンクリ・	ートエ								
		*		加工条件や 満足してい	気象条件に適し る事が確認でき	ンた運搬時間、 きる(寒中及び	打設時の投入高 書中コンクリー	らさ及び締固め方法が、定め ト等を含む)	られた条件を				
		*		12 コンクリー いる事が確	トの圧縮強度を 認できる	と管理し、必要	な強度に達した	と後に型枠及び支保工の取り	外しを行って				
		*		13 鉄筋の組立	及び加工が、記	设計図書の仕様	を満足している	事が確認できる					
		*		14 スペーサー	の品質及び個数	数が、設計図書	の仕様を満足し	ている事が確認できる					
		*		15 有害なクラ	ックが無い								
				16 その他(
				■その他									
		*		17 補強土壁工	補強土壁工において、盛土の締固めが適切な条件で施工されている事が確認できる								
		*		18 基礎杭の打	18 基礎杭の打ち止め管理方法又は場所打ち杭の施工管理が整備されかつ記録が確認できる								
				19 その他()							
		ı		■品質関係の	の試験結果のば	らつき(下記4:	項目から必ず選 	択する事)					
					試験結果のばら								
					試験結果のばら								
					試験結果のばら								
					試験結果のばら								
		ı			に関する減点項								
								職員が文書で指示を行い改善さ					
	3411	□ ¥L	_	25 品質関係の	則正万法乂は測定	1値か不適切であ	っったため、検査	職員が修補指示を行った	е				
	該当項		0										
	評価対象	, , , , , ,	15					\場合は評価対象項目(評価値で判断不可能である」を選択					
	評価値		0%										
	評	点	c	評価対象項 場合け 評	目「1~19」の 価値が90%以	うち、評価対象 上であっても	象項目数が2項目 a',b又はb'とす	Ⅰ以下の場合はc評価とする。 -ス	5項目以下の				
	評	元	0.0	30 L (5) F			a , b , C a b C	υ					
	fī				14	らつきで判断す	T 台上		, l				
					50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能					
			ĺ	90%以上	a	a'	b	b]				
		評	ر 75%	以上90%未満	a'	b	b'	b'					
		価	ال 60%	以上75%未満	b	b'	С	c					
		値	50%以	以上60%未満	b'	С	С	С					
				50%未満	С				-				
	L												

3. 出来形及 び出来栄え	TT 口 形形			検査員	評価対象項目
び出来栄え	Ⅱ前負		選択		【維持工事(清掃工・除草工・付属物工・除雪・応急処理等)】
					世用する材料の品質・形状が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っている 事が確認できる
	維持修繕	工事	Ì		2 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施している事が確認できる
					3 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行う等積極的に取り組んでいる事が確認できる
			Ī		4 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応している事が確認できる
					【修繕工事(橋脚補強・耐震補強・落橋防止等)】
					$_{5}$ 使用する材料の品質・形状が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っている事が確認できる
					6 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施している事が確認できる
					7 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行う等積極的に取り組んでいる事が確認できる
					を 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている事が確認で きる
					9 理由:()
					10 理由: ()
			1		11 理由: ()
					12 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d
	F				13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行ったe
		該当項		0	該当項目が6項目以上a 優れている
		評	É	c	該当項目が5項目以上a'bより優れている
		評 ,	点	0	該当項目が4項目以上b やや優れている
					該当項目が3項目以上b'cより優れている
					該当項目が2項目以下c 他の評価に該当しない。
			Ī		●「12」の項目に該当すればd、「13」の項目に該当すればeとする
	取壊し工				1 分割、再資源化を適切に実施している
					2 施工計画書に定められた計画により管理されている
					3 廃棄物の処理が適切である
					4 請負者の管理記録が整備されている
					5 不可視部分の写真記録が適正かつ明瞭である。
					6 その他()
					7 その他()
			Ī		8 その他()
					9 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d
	Г	atomic acres	J 14/		10 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行ったe
	,	該当項		0	該当項目が6項目以上a 優れている
	ļ		Ē	c	該当項目が5項目以上a'bより優れている
	Ĺ	評 ,	<i>⊼</i>	0	該当項目が4項目以上b やや優れている
					該当項目が3項目以上b'cより優れている
					該当項目が2項目以下c 他の評価に該当しない。
					●「9」の項目に該当すればd、「10」の項目に該当すればeとする

評価項目	細目	項目選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質	*		1 施工基面	fiを平滑に仕上げ⁻	ている事が確認	見できる					
び出来栄え		*		2 製込材が	てい胴込めコンク!	リートの締固め	のを、空隙が生し	じないより十分に行っている	事か催認でき			
	護岸・根固・水制	*		³ 吸出しか	ぶ無いように行って	ている事が確認	見できる	る材料のかみ合わせ又は連結	•			
	工事	*		ବ				度及び水密性を確保している				
		*		遮水シー 5 きる	-トが所定の幅で重	重ね合わせられ	ル、端部処理が記	设計図書の仕様を満足してい	る事が確認で			
		*		6 植生工で	で、植生の種類、占	品質、配合及び	が養生が、設計図	図書の仕様を満足している事	が確認できる			
		*			水制工、沈床工、		いて、材料の選	車結及びかみ合わせが設計図	書の仕様を満			
		*		8 指定材料	+の品質が、証明	書類で確認でき	る					
		*		9 基礎工に	おいて、堀り過ぎ	ぎが無く施工し	ている事が確認	忍できる				
		*		10 コンクリ	ートブロック等を	を損傷無く設置	置している事が確	確認できる				
		*		11 施工にあ	たって、床堀箇戸	所の湧水及び淵	帯水等は、排除し	して施工している事が確認で	きる			
		*		12 埋戻した	材料について、設計	計図書の仕様を	:満足している!	事が確認できる				
		*		13 有害なク	有害なクラックが無い							
				14 その他()						
				■品質関	係の試験結果のは	ざらつき(下記4	項目から必ず選	択する事)				
				15 品質関係	系の試験結果のばり	うつきが50%以	人下である					
				16 品質関係	系の試験結果のばり	うつきが80%以	人下である					
				17 品質関係	系の試験結果のばら	うつきが80%を	超えている					
				18 品質関係	系の試験結果のば に	うつきで判断不	「可能である					
		ī			係に関する減点項							
				19 品質関係 -d	※の測定方法又は》	則定値が不適り	Jであったため、	監督職員が文書で指示を行	い改善された			
				20 品質関係	系の測定方法又は液	則定値が不適り	可であったため、	検査職員が修補指示を行っ	た			
	該当項目	日数	0	-е								
	評価対象		13	14 A3 45	の測点体ない。	5ノぼと へキャ	/ 単月性に がった モ よい	、担人对证券各语口/范尔!	古)だけべがほ			
	評価値	. /	0%					ヽ場合は評価対象項目(評価値 で判断不可能である」を選択				
	評 第		C		7万日「1-14」の	さと 証価品	免で ロ 粉 ぷ ので ほ	コリエの担人は、萩焦しよう	「項目りての			
			0. 0		₹項日 11~14」の 評価値が90%以_			目以下の場合はc評価とする。 する	5頃日以下の			
	評点		0.0	ļ								
					ば	らつきで判断	可能	3.18 A _ do _ do liter 61-	Ţ			
					50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能				
			9	90%以上	а	a'	b	b]			
		評価	لِ%75	以上90%未清	· a'	b	b'	b']			
		価値	لِـ60%	以上75%未清	前 b	b'	С	С]			
			6	60%未満	b'	С	С	С				

評価項目	細目	項目選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質	~ / V		【共通】								
び出来栄え		*					っており、コン 材反応抑制等)	√クリートの品質(強度・w/c が確認できる	・最大骨材粒			
	砂防構造物工事及 び地すべり防止工	*		2 コンクリー が確認でき		持に必要な試験	を実施しており)、温度、スランプ、空気量	等の測定結果			
	事(集水井戸工事 を含む)	*		3 圧縮強度試	験に使用したこ	コンクリート供	試体が、当該理	見場の供試体であることが確	認できる			
	200/	*						D機種及び養生方法が、施工 が確認できる(寒中及び暑中=				
		*			トの圧縮強度を	と管理し、必要	な強度に達した	た後に型枠及び支保工の取り	外しを行って			
		*		6 地山との取	り合わせを適り	刀に行っている	事が確認できる	3				
		*		7 鉄筋及び鋼	材の品質が、証	E明書類で確認	できる					
		*		8 有害なクラ	ックが無い							
				9 その他()						
				【砂防構造物】	[事に適用]							
		*		10 コンクリー できる	ト打設までに鉛	青、泥、油等の	有害物が、鉄館	第に付着しないよう管理して	いる事が確認			
		*		11 鉄筋の組立	及び加工が、副	设計図書の仕様	を満足している	る事が確認できる				
		*		12 施工基面を	2 施工基面を平滑に仕上げている事が確認できる							
		*			3 アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足している事が確認できる							
		*		14 グラウトの いる。	注入に当たり、	グラウトが孔	.内から排出され	いるまで連続して注入作業が	おこなわれて			
		*		15 ボルトの締付確認が実施され、記録を保管している事が確認できる								
		*		16 ボルトの締	付機及び測定機	後器のキャリブ	`レーションを舅	実施している事が確認できる				
				17 その他()						
				【地すべり対策								
		*		【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】 18 アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足している事が確認できる								
		*		19 ライナープ		きる						
		* 20 ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工している!										
		* 21 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配							る事が確認で			
				さる	25 fmt 1 5							
		*		22 有害なクラ		\						
				23 その他()	245012241	12/24 10 . ト 4 平/				
		ı					記4項目から必す エニュス	(選択する事)				
				24 品質関係の								
				25 品質関係の								
				26 品質関係の								
				27 品質関係の				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				
							あれば選択する					
								職員が文書で指示を行い改善さ				
		- Vr.		29 品質関係の測	川疋万法又は測定	値が不適切であ	っったため、検査	職員が修補指示を行った	е			
	該当項		0									
	評価対象		20					、場合は評価対象項目(評価値の対象項目)				
	評価作		0%	りることと	し、「21」 前貨	判がり孤験結	水ツはりつざく	で判断不可能である」を選択	y 3			
		定	С					目以下の場合はc評価とする。	5項目以下の			
	評	点	0	場合は、評	1面101が90%以上	こじめつしも、	a',b又はb'とす) S				
					ば	らつきで判断す	可能	ばらつきで判断不可能	Ī			
					50%以下	80%以下	80%を超える	はい 70 く刊劇/小り胎				
				0%以上	a	a'	b	b				
		評	با %75	以上90%未満	a'	b	b'	b']			
		価	لِ%60	以上75%未満	b	b'	c	С				
		値	50%以	人上60%未満	b'	С	С	c	Î			
				50%未満	c		<u>. </u>		•			

評価項目	細目	項目選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質		•	【共通】								
び出来栄え		*		1 施工基面を平	2滑に仕上げてい	る事が確認でき	る(特に法枠工、	コンクリート又はモルタル吹作	寸工関係)			
	法面工事	*		2 施工に際して	、品質に害とな	:る施工面の浮石	iやゴミ等を除去	してから施工している事が確認	できる			
		*		3 盛土の施工	にあたり、法面	5の崩壊が起こ	らないよう締固	固めを十分行っている事が確	認できる			
		*		4 雨水による	崩壊が起こらな	いように、排	水対策を実施し	している事が確認できる				
				5 その他()						
				【種子吹付工、	客土吹付工、	厚層基材吹付	工関係】					
		*		6 土壌試験の	結果を施工に反	(映している事	が確認できる					
		*		7 ネット等の	境界に隙間が生	Eじていない事	が確認できる					
		*		8 ネット等が	破損を生じてレ	いない事が確認	できる					
		*			均等である事か							
		*						いる事が確認できる	_			
		*						と満足している事が確認でき	る			
		*				- " "	る事が確認でき	きる				
				13 その他(
			1		ト又はモルタル		フェルサヨ <i>ー</i> 2	. 7				
		*					る事が確認でき	2 O				
		*		15 吹付厚さが			Z					
		*		16 金網が破損				#ロ1 でいてまぶた 初づもて				
		*						端足している事が確認できる 				
		*					している事が Lしている事が					
		*						確認 (さる) 亥現場の供試体であることが	確認できる			
		*						*る事が確認できる	推覧へるの			
		*		22 水抜きパイ			定性を打りてい	、の事が推断できる				
		*					込んで施丁して	こいる事が確認できる				
		-		24 その他((00)/0) \		Z-70 CMELO					
					現場打法枠工関係】							
		*		25 使用する材料	使用する材料の種類、品質、配合が設計図書の仕様を満足している事が確認できる							
		*		26 アンカーを	アンカーを設計図書通りの長さで施工している事が確認できる							
		*		27 アンカーが	確実に固定され	している						
		*		28 現場養生が.	、設計図書の仕	上様を満足する	ように実施して	ている事が確認できる				
		*		29 強度試験に	 使用したコンク	リートの供試	体が、当該現場	易の供試体であることが確認	できる			
		*		30 枠内に空隙	が無いことが確	電認できる						
		*		31 層間に剥離	が無いことが確	 軽認できる						
		*		32 不良個所が	生じないよう跗	kね返り材料の	処理を行ってレ	いる事が確認できる				
				33 その他()						
				■品質関係の	の試験結果のば	らつき(下記4)	頁目から必ず選	択する事)				
				34 品質関係の	試験結果のばら	っつきが50%以	下である					
				35 品質関係の	試験結果のばら	っつきが80%以	下である					
				36 品質関係の	試験結果のばら	っつきが80%を	超えている					
				37 品質関係の	試験結果のばら	っつきで判断不	可能である					
					2関する減点項							
								職員が文書で指示を行い改善さ				
				39 品質関係の測	定方法又は測定	値が不適切であ	ったため、検査	職員が修補指示を行った	е			
	該当項目数 評価対象項目											
								・場合は評価対象項目(評価値で判断不可能である」を選択				
	評価値		0%	りることと	し、「31」品質	関係の訊願結	木ツはりつさて	、刊別小川肥じめる」を選択	y W			
		定	С				象項目数が2項目 a',b又はb'とす	目以下の場合はc評価とする。 トス	5項目以下の			
	評	点	0	勿口は、評	1			1 'd	Ţ			
						らつきで判断す		ばらつきで判断不可能				
		-		00/ DL T-		80%以下	80%を超える	1.				
		評		0%以上 以上90%未満	a ,	a'	b 1,	b b'				
		価			a'	b b'	b'					
		値		以上75%未満 0%未満	b b'	b'	С	c				
		1	. 6	∪ /0 木両	b'	С	С	С				

評価項目	細目	項目選択	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質	221/		【杭関係(既成	コンクリートヤ	亢・鋼管・鋼管	井筒・場所打	深礎等)】				
び出来栄え		*		1 杭に損傷及	び補修痕が無レ	ことが確認で	きる					
	基礎工工事(地盤 改良等含む)	*		2 既成杭の打ている事が		法及び場所打杭	の施工管理の力	方法が整備されており、その	記録を整理し			
		*		3 杭頭処理に	おいて、杭本体	歩を損傷してい	な事が確認でき	きる				
		*		4 水平度、鉛	直度等が、設計	図書の仕様を	満足している事	事が確認できる				
		*		5 溶接の品質	管理に関して、	設計図書の仕	様を満足してレ	いる事が確認できる				
		*		6 支持地盤に	達している事か	ぶ、掘削深さ、	掘削土砂等によ	より確認できる				
		*		7 場所打杭にる	ついて、トレミ	一管をコンク	リート内に2m	以上挿入して施工している。	事が確認でき			
		*		が、設計図	書の仕様を満足	としている事が	確認できる	いる場合の孔内の安定液濃度				
		*		9 配筋、スペ [、] きる	ーサーの配置及	とびコンクリー	ト打設等が、認	役計図書の仕様を満足してい	る事が確認で			
		*		10 ライナープ	レートの組立に	こあたり、偏心	と歪みに配慮し	して施工している事が確認で	きる			
		*		11 裏込材注入								
		*		12 強度確認、	セメントミルク	の比重管理等	の品質に係わる	る事項の管理資料を整理して	いる事が確認			
				13 その他()								
				【地盤改良関係】								
		*		14 改良材のバ	ッチ管理記録カ	ぶ整理され、設	計図書の仕様を	と満足している事が確認でき	る			
		*		15 セメントミ	ルクの比重、フ	スラリー噴出量	、強度等の管理	里資料を整理している事が確	認できる			
		*		16 事前に土質	試験を実施し、	改良材の選定	、必要添加量の	の設定等を行っている事が確	認できる			
		*		17 施工箇所が	均一に改良され	ıていると共に	、十分な強度及	及び支持力を確保している事	が確認できる			
				18 その他()						
				■品質関係の	の試験結果のば	らつき(下記4	項目から必ず選	択する事)				
				19 品質関係の			*					
				20 品質関係の	試験結果のばら	っつきが80%以	下である					
				21 品質関係の								
				22 品質関係の								
		ı			2関する減点項			## B 22 L # 218 - 2 C · · · ·				
								職員が文書で指示を行い改善さ				
	34 11	口 华/		24 品質関係の測	川定方法又は測定	値が不適切であ	っったため、検査	職員が修補指示を行った	е			
	該当項		0									
	評価対象		16					ヽ場合は評価対象項目(評価値 で判断不可能である」を選択				
	評価		0%									
		定占	С				象項目数が2項目 a',b又はb'とす	目以下の場合はc評価とする。 よる	5項目以下の			
	評点評価値	尽	0	₩ LI 10 \ FI	1	- (め) (6、 らつきで判断す		· •	7			
						80%以下	リ 80%を超える	ばらつきで判断不可能				
			9	0%以上	a	a'	b	b	1			
		لِا%75	人上90%未満	a'	b	b'	b'	1				
			لِا%60	以上75%未満	b	b'	С	С	1			
		値	50%以	上60%未満	b'	c	С	С	Ì			
			į	50%未満	c		<u>, </u>					

評価項目	細		項目 選択	検査員				評価対象項目						
3. 出来形及	Ⅱ品質		251/		【工場製作関係	Ŕ】								
び出来栄え			*		1 鋼材の種別	を、品質を証明]する書類又は	現物により照合	合している事が確認できる					
	鋼橋工事		*		2 溶接作業に	あたり、作業員	員の技量確認を	行っている事だ	が確認できる					
			*		3 溶接作業に	あたり、溶接を	材料の仕様区分	が設計図書の位	仕様を満足している事が確認	いできる				
			*		4 溶接施工に	 係る施工計画書		る事が確認でき	きる					
			*		5 孔明けによ・	 って生じたまく	れが削り取ら	れている等きと	め細やかに製作している事が	確認できる				
			*		6 欠陥部の発	生が見られない	・事が確認でき	る						
			*		7 塗装作業に	 あたり、塗布面	iを十分に乾燥	させて施工して	ている事が確認できる					
			*		8 素地調整を	行う場合、第一	一種ケレン後4時	寺間以内に金属	前処理塗装を実施している	事が確認でき				
			*		9 塗料の空缶	管理について、	写真等で確実	に空であるこ	とが確認できる					
			*		10 塗料の品質 る	が出荷証明書、	塗料成績書に	より、製造年月	月日、ロット番号、色彩、数	(量が確認でき				
					11 その他()							
		-			【架設関係】									
			*		12 ボルトの締	ルトの締付確認が実施され、記録を保管している事が確認できる								
			*		13 ボルトの締	付機及び測定機	後器のキャリブ	レーションを	実施している事が確認できる	ı				
			*		14 高力ボルトの	の締付を中心か	いら外側に向か	って行っている	る事が確認できる					
			*		15 高力ボルトの									
			*		16 支承の据付る	で、コンクリー	- 卜面のチッピ	ング及び仕上に	ず面に水切勾配が付いている	事が確認でき				
			*		17 架設にあた	R設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討している事が確認できる								
						る仮設備及び架 が確認できる	段別機材についます。	いて品質、性能	能が確保できる規模及び強度	を有して確認				
			*		19 現場塗装部の	のケレン及び膊	莫厚管理を適切	に行っている	事が確認できる					
			*		20 現場塗装に	おいて、温度、	湿度、風速等	の確認を行って	忍を行っている事が確認できる					
					21 その他(,)							
					■品質関係 <i>0</i>)試験結果のば	らつき(下記4)	項目から必ず選	選択する事)					
					22 品質関係の	試験結果のばら	っつきが50%以	下である						
					23 品質関係の	試験結果のばら	っつきが80%以	下である						
					24 品質関係の	試験結果のばら	っつきが80%を	超えている						
					25 品質関係の	試験結果のばら	つきで判断不	可能である						
					■品質関係に	2関する減点項	目(該当があれ	ば選択する)						
					26 品質関係の測	定方法又は測定	望値が不適切である	っったため、監督	職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d				
	_				27 品質関係の測	定方法又は測定	至値が不適切であ	っったため、検査	職員が修補指示を行った	е				
		該当項目	数	0										
		評価対象	項目	19					ハ場合は評価対象項目(評価値					
	L	評価値	İ	0%	することと	し、「25」品質		果のばらつき	で判断不可能である」を選択	いする				
	L	評 定	<u> </u>	c					目以下の場合はc評価とする。	5項目以下の				
	評点			0	場合は、評価	価値が90%以上	こであっても、	a',b又はb'とっ	する 	7				
							らつきで判断す	可能 •	ばらつきで判断不可能					
	評			50%以下	80%以下	80%を超える								
			0%以上	а	a'	b	b	1						
		1.1	, , ,	以上90%未満	a'	b	b'	b'	1					
	価		価 6		以上75%未満	b	b'	c	c	<u> </u>				
	植				人上60%未満	b'	c	С	С	<u></u>				
					50%未満	c								

	Ⅱ品質 コンクリート橋工	選択 *		コンクリー	トの副会試験で								
	コンカリート極丁			怪・塩化物	総量、単位水量	もび試験練を₹ 遣、アルカリ†	テっており、コン 骨材反応抑制等)』	クリートの品質(強度・w/c が確認できる。	・最大骨材粒				
	コンカリート極丁	*		2 コンクリー が確認でき		寺に必要な試験	倹を実施しており	、温度、スランプ、空気量	等の測定結果				
		*		3 圧縮強度試	験に使用したコ	コンクリートの	の供試体が、当該	現場の供試体である事が確	認できる				
	事(PC及びRCを対 象)	*					打設時の投入高 暑中コンクリー	さ及び締固め方法が、定め ト等を含む)	られた条件を				
1		*		5 コンクリー いる事が確		と管理し、必要	要な強度に達した	後に型枠及び支保工の取り	外しを行って				
		*		6 鉄筋の品質	が、証明書類で	で確認できる							
		*						様を満足している事が確認	_				
		*		8 きる	ト打設までに勤	青、泥、油等0	り有害物が鉄筋に	付着しないよう管理してい	る事が確認で				
		*		9 鉄筋の組立	及び加工が、記	ひ計図書の仕様	兼を満足している	事が確認できる					
		*		10 圧接作業に	あたり、作業員	員の技量確認を	を行っている事が	確認できる					
		*		11 コンクリー	トの養生が、説	ひ計図書の仕様	様を満足している	事が確認できる					
		*		12 スペーサー	の品質及び個数	数が、設計図記	 小に定められた条	:件を満足している事が確認	できる				
		*		13 プレビーム	プレビーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足している事が確認できる 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施している事が確認できる								
		*		14 使用する装	施している事が確認できる								
		*			様を満足している事が確認	_							
		*		16 る	ত								
		*		17 認できる	件におかれた供試体を用い	ている事が確							
		*		18 有害なクラ									
				19 その他()		T= 2 = 10					
		ĺ					!項目から必ず選:	択する事) 					
				20 品質関係の 21 品質関係の									
				22 品質関係の 23 品質関係の									
				1	こ関する減点項								
								職員が文書で指示を行い改善さ	 れた-d				
								戦員が修補指示を行った					
	該当項	目数	0										
	評価対象		18	試験結里の	測定値笙が小ナ	こくげらつきの	り判断ができかい	場合は評価対象項目(評価値	直) だけで誣価 				
	評価化	直	0%					判断不可能である」を選択					
	評	定	С	評価対象項	目「1~19」の	うち、評価対	象項目数が2項目	以下の場合はc評価とする。	5項目以下の				
	評	点	0				a',b又はb'とす						
					ば	らつきで判断	可能	ばらつきで判断不可能]				
					50%以下	80%以下	80%を超える	はり フさて刊断个 明記]				
			g	00%以上	а	a'	b	b]				
		評	لِـ75%	以上90%未満	a'	b	b'	b']				
		評価値	لِـ%60	以上75%未満	b	b'	С	С	↓				
				以上60%未満	b'	c	c	c]				
				50%未満	c	J							

評価項目	細目		頁目 軽択	検査員					評価対象項目				
3. 出来形及	Ⅱ品質		*		1	材料の品質	及び形状が設計	図書等との通	5応性確認ができ	き、証明書が整備されている			
び出来栄え			*		2	施工に先立	ち土質毎の試験	食を行い、仕様	長書等に示す条件	‡を満足している			
	盛土築堤等工事など		*		3	盛土の施工	が仕様書に基づ	がき適切な条件	⊧で施工されてレ	いる			
	ため池工事等(オテキスタイル 含む)		*			位置、縦断? が整理され		書に従い適り	□に施工されてい	いる(月報、試験等報告書によ	より管理状況		
	1)		*		5	規格形状が記	設計図書等と鏨	を合し、クラッ	,クの発生が無V	`			
			*		6	構造物周辺の	の締固めが仕様	長書等で示す 柔	件で施工されて	こいる			
			*		7	地盤改良工	(固化材等)の崩	正工が仕様書等	Fに従い実施され	にている			
					8	その他()					
					ı	■品質関係 <i>の</i>	対験結果のば	らつき(下記4	項目から必ず選	択する事)			
			ľ		9	品質関係の語	試験結果のばら	っつきが50%以	人下である				
			Ì		10	品質関係の記	試験結果のばら	っつきが80%じ	人下である				
					11	品質関係の記	試験結果のばら	っつきが80%を	超えている				
			ĺ		12	品質関係の記	試験結果のばら	っつきで判断不	「可能である				
		_		ı	■品質関係に	-関する減点項	目(該当があれ	ιば選択する)					
				13	品質関係の測	定方法又は測定	[値が不適切では	あったため、監督	職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d			
					14	品質関係の測	関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行ったe						
	該旨	当項目	数	0									
	評価	i対象項	目	7		試験結果の	則定値等が少な	:くばらつき <i>0</i> :)判断ができなレ	い場合は評価対象項目(評価値	直)だけで評価		
	言正	評価値		0%		することと	し、「12」品質	[関係の試験 編	告果のばらつきて	で判断不可能である」を選択	する		
	量量	評 定		c		評価対象項	目「1~8」のき	ち、評価対象	や項目数が2項目	以下の場合はc評価とする。	5項目以下の		
	量量	評 点		0	:	場合は、評価	価値が90%以上	こであっても、	a',b又はb'とす	ける			
							ば	らつきで判断	可能	ばらつきで判断不可能			
							50%以下	80%以下	80%を超える	はりつきて判例作引配			
				9	90%	以上	a	a'	b	b			
		評	لِ 75%	以上	90%未満	a'	b	b'	b'				
	評 価 値			لِ%60	以上	75%未満	b	b'	c	c			
				50%以	上	30%未満	b'	c	c	c			
					50%	未満	c				=		
								•					

評価項目	細目	1	項目選択	検査員		評価対象項目							
3. 出来形及	Ⅱ品質		迭 *		1 作業残土の	処理が、資料に	より確実に実	施されているだ	か確認できる				
び出来栄え			*		2 裏込め注入	 こついて、注入	量・注入圧力	の管理・記録が	 が適切になされている				
	共同溝シーノ	ルドエ	*		3 シールド設付	備工(坑内外)に	こついては、的	確に実施されて	ている				
	事		*		4 セグメント(の品質が、工場	景管理資料によ	り的確に確認っ	 できる				
			*		5 不可視部分(の写真記録が通	重正である						
					6 その他(,)						
					■品質関係の	対験結果のば	らつき(下記4)	- 項目から必ず選	銀択する事)				
					7 品質関係の語	試験結果のばら	っつきが50%以	下である					
					8 品質関係の語	試験結果のばら	っつきが80%以	下である					
					9 品質関係の語	試験結果のばら		超えている					
					10 品質関係のi	試験結果のばら	 っつきで判断不	可能である					
			I		■品質関係に	- 関する減点項	目(該当があれ	ば選択する)					
					11 品質関係の測	定方法又は測定	[値が不適切であ	ったため、監督	 職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d			
					12 品質関係の測	定方法又は測定	[値が不適切であ	ったため、検査	 職員が修補指示を行った	е			
	Ē	該当項目	目数	0									
	評	F 価対象	項目	5	試験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価								
		評価値	直	0%	することとし、「10」品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択・								
		評	定	С	評価対象項	目「1~6」の ^さ	ち 評価対象	項目数が2項目	以下の場合はc評価とする。	5項目以下の			
		評別	点	0				a',b又はb'とっ		0.812/14/			
						ば	らつきで判断す	可能		Ī			
						50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能				
				g	0%以上	a	a'	b	b				
			評	يا 75%	以上90%未満	a'	b	b'	b'				
			価値	لِ 60%	以上75%未満	b	b'	c	С				
				6	60%未満	b'	С	c	С				
評価項目	細目		項目	検査員				評価対象項目					
3. 出来形及	Ⅱ品質		選択	,,,	1 盛土材料の	十質が適正であ							
び出来栄え			*		2 盛土の締固めを適切な条件(人力機械別、巻出し厚・敷均し・転圧作業等)で施工されている								
	補強土壁工		*		2 盛上の神画のを適切な末代(人) (成成が、各山し岸・敷均し・転圧下来等) (旭上されている 3 プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料より的確に確認できる								
			*		3 プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料より的確に確認できる 4 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている								
			*		5 盛土の締固								
					6 その他(
		ļ			L	対験結果のば	らつき(下記4)	 項目から必ず選					
					7 品質関係の語	試験結果のばら	っつきが50%以	下である					
					8 品質関係の語	試験結果のばら	っつきが80%以	下である					
					9 品質関係の語	試験結果のばら	っつきが80%を	超えている					
					10 品質関係の語	試験結果のばら	っつきで判断不	可能である					
					■品質関係に	- 関する減点項	目(該当があれ	ば選択する)					
					11 品質関係の測	定方法又は測定	(値が不適切であ	ったため、監督	職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d			
					12 品質関係の測	定方法又は測定	(値が不適切であ	ったため、検査	職員が修補指示を行った	е			
	Ī	該当項目	目数	0									
	評	[個対象	項目	5	試験結果の消	則定値等が少な	こくばらつきの	判断ができない	ハ場合は評価対象項目(評価値	直)だけで評価			
		評価値	直	0%					で判断不可能である」を選択				
		評気	定	С	評価対象項	目「1~6」のき	ち、評価対象	項目数が2項目	以下の場合はc評価とする。	5項目以下の			
		評	点	0				a',b又はb'と					
				-		ば	らつきで判断す	可能	147 シャン All Me ナーか]			
						50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能				
				g	0%以上	а	a'	b	b	1			
			評価	لِ%75	以上90%未満	a'	b	b'	b'				
			価値	لِ%60	以上75%未満	b	b'	С	С				
				6	60%未満	b'	С	С	С				
				6	60%未満	b'	С	С	С				

評価項目	細目	項目選択	検査員				評価対象項目			
3. 出来形及	Ⅱ品質	*		1 仕様書に定	められている品	品質管理が実施	されている			
び出来栄え		*		2 材料の品質	及び形状が設計		切性確認ができ	、証明書が整備されている		
	農道・林道等の新	*		3 立木等の処	理物は関係法令	合により適切に	処理されている			
	設、改良	*		4 切土、盛土	4 切土、盛土工が設計図書等に従い適切に施工されている					
		*		5 位置、縦断	勾配等が設計図	図書等に従い適	切に施工されて	こいる		
		*		6 中心杭及び	中心杭及び用地杭等の管理が適切に行われている事が確認できる					
		*		7 構造物周辺	の締固めが仕様	養書等で示す条	件で施工されて	こいる		
				8 その他()				
				■品質関係の)試験結果のば	らつき(下記4)	項目から必ず選	択する事)		
				9 品質関係の	試験結果のばら	っつきが50%以	下である			
				10 品質関係の	試験結果のばら	5つきが80%以	下である			
				11 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている						
				12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である						
		i		■品質関係は	2関する減点項	目(該当があれ	ば選択する)			
				13 品質関係の測	定方法又は測定	望値が不適切である	ったため、監督	職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d	
				14 品質関係の測	定方法又は測定	値が不適切であ	ったため、検査	職員が修補指示を行った	е	
	該当項	目数	0							
	評価対	象項目	7	試験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価						
	評価	i値	0%	することと	ることとし、「12」品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択する 価対象項目「1~8」のうち、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。5項目以下の 合は、評価値が90%以上であっても、a',b又はb'とする					
	評		С							
	評	点	0	場合は、評価			, , , , , , ,	්ර 	,	
						らつきで判断す -	*	ばらつきで判断不可能		
			1		50%以下	80%以下	80%を超える		,	
				00%以上	а	a'	b	b		
		評		以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		価値	,	以上75%未満	b	b'	c	С		
				人上60%未満	b'	С	c	С		
				50%未満	С					

評価項目	細	目	項目選択	検査員					評価対象項目				
3. 出来形及	Ⅱ品質		*		1 '	管路の通過	試験を行ってお	3り、試験結果	から全箇所が導	尊通している事が確認できる			
び出来栄え	電線共同溝工事(管路布設工事		*		2	指定材料の	規格が、品質を	:証明する書類	で確認できる				
			*		()	プラント出る事が確認で		序時、舗設時等	において、アス	スファルト混合物の温度管理	が記録してい		
			*		4 施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げている事								
			*		5	特殊部等のだ ている事が	施工において、 確認できる	隣接する各ブ	ロックに目違い	いによる段差及び蛇行等が無	いよう敷設し		
			*		6	埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足している事が確認できる							
			*		7 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保している事								
			*		8	管枕及び埋詞	設シートの設置	量及び土被りが	、設計図書の作	土様を満足している事が確認	できる		
			*		9	管設置におい	ハて、それぞれ	ルの管の最小曲	げ半径を満足し	している事が確認できる			
					10	その他()					
					ı	■品質関係の	対験結果のば	らつき(下記4)	項目から必ず選	択する事)			
					11	品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である							
					12	品質関係の記	試験結果のばら	っつきが80%以	下である				
					13	品質関係の語	試験結果のばら	っつきが80%を	超えている				
					14	品質関係の語	試験結果のばら	っつきで判断不	可能である				
					•	■品質関係に	-関する減点項	目(該当があれ	ば選択する)				
					15	品質関係の測	定方法又は測定	値が不適切であ	ったため、監督	職員が文書で指示を行い改善さ	れた-d		
	_				16	品質関係の測	定方法又は測定	値が不適切であ	っったため、検査	職員が修補指示を行った	е		
		該当項	目数	0									
		評価対象	項目	9						い場合は評価対象項目(評価値	_, ,		
		評価値	値	0%	Ì	することと	し、「14」品質	関係の試験結	果のばらつきて	で判断不可能である」を選択	する		
		評	評 定	定	c			価対象項目「1~10」のうち、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。5項目以下の					
		評	点	0	-	場合は、評価	価値が90%以上	こであっても、	a',b又はb'とす	片る	_		
							ば	らつきで判断す	可能	ばらつきで判断不可能			
		i					50%以下	80%以下	80%を超える	12 2 - C - C 1981 1 - 188			
				g	90%	以上	а	a'	b	b			
			評	75% J	以上	90%未満	a'	b	b'	b'			
			価値	لِـ%60	以上	75%未満	b	b'	c	c			
			胆	50%以	↓上6	60%未満	b'	С	С	c			
					50%	未満	c						

 弘 出来形及 (V出来栄え) 土水道工事(管布 設) * 1 管薬の規格、品質がミルシート等で確認できる。 * 2 弁管等用品の規格、品質がミルシート等で確認できる。 * 4 埋戻しを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。 * 5 湯水が無い。 6 その他() 9 品質関係の試験結果のばらつき(下記4項目から必ず選択する事) 9 品質関係の試験結果のばらっきが50%以下である 10 品質関係の試験結果のばらっきが50%以下である 11 品質関係の試験結果のばらっきが80%と下である 12 品質関係の試験結果のばらっきが80%を超えている 13 品質関係に対験は実のばらっきで判断不可能である 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が2書で指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 該当項目数 0 評価値 0% 評 定 c 評価値 0% 評 定 c 評価値 0% 評 点 0 お験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評することとし、「12」品質関係の試験結果のばらっきで判断不可能である」を選択することとし、「12」品質関係の試験を関しまが必須を可しまでも対しまであったも、。」とびはじとする。 が験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価とする。5項目以下場合は、評価値が90%以上であっても、。」とびはじとする。 ばらつきで判断可能 50%以下 80%を超える 4 度の 2 にあっきで判断不可能 50%以下 80%を超える 4 度の 2 にあっきで判断不可能 50%以下 80%を超える 4 度の 2 にあっきで判断不可能 50%以下 80%を超える 50%以下 60%以上であっても、。」とびはけるする。 	評価項目	細	I	項目選択	検査員				評価対象項目				
* 2 弁医等用品の規格、品質がミルシート等で確認できる。 * 3 管集の規合状況が確認できる。(継手チェックシート、写真等) * 4 埋戻しを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。 * 5 漏水が無い。 6 その他() ■品質関係の試験結果のばらつき(下記4項目から必ず選択する事) 9 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 11 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 12 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 12 品質関係の対験結果のばらつきが80%を超えている 13 品質関係の測定が験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った ※当項目数 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った ※ 当項目数 2 評価対象項目 5 評価対象項目 5 評価対象項目 5 評価対象項目 5 評価値 0% することとし、「12」品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択する ※ 定		Ⅱ品質		*		1 管渠の規格	、品質がミル	ンート等で確認	忍できる。				
# 4 世界しを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。 * 4 世界しを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。 * 5 潮水が無い。 6 その他() ■ 品質関係の試験結果のばらつき(下記4項目から必ず遊択する事) 9 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 10 品質関係の試験結果のばらっきが80%以下である 11 品質関係の試験結果のばらっきが80%以下である 12 品質関係の試験結果のばらっきが80%以下である 13 品質関係の試験結果のばらっきで判断不可能である ■ 品質関係に関する減点項目(該当かられば遊択する) 13 品質関係の副定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が修補指示を行い改善された- は 品質関係の副定方法又は測定値が不適切であったため、整督職員が修補指示を行い改善された- は 品質関係の測定が法とは測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行い改善された- は 品質関係の測定が法とは測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った——e 該当項目数	の出米宋ス			*		2 弁筺等用品	の規格、品質な	がミルシート等	等で確認できる。				
* 4 理 戻しを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。 * 5 漏水が無い。 6 その他() ■品質関係の試験結果のばらつき(下記4項目から必ず選択する事) 9 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 10 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 11 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 12 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、整質職員が文書で指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った――――――――――――――――――――――――――――――――――――			(管布	*		3 管渠の接合	状況が確認で	きる。(継手チ	エックシート、	写真等)			
■品質関係の試験結果のばらつき(下記4項目から必ず選択する事) 9 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 10 品質関係の試験結果のばらつきが80%以下である 11 品質関係の試験結果のばらつきが80%以下である 11 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、機査職員が修補指示を行った		設)		*		4 埋戻しを適	切な条件で施工	Lしており、氰	音の周辺に空隙か	5生じていない。			
■品質関係の試験結果のばらつき(下記4項目から必ず選択する事) 9 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 10 品質関係の試験結果のばらつきが80%と超えている 11 品質関係の試験結果のばらつきが80%と超えている 12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係に関する減点項目(該当があれば選択する) 13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d 出質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った				*		5 漏水が無い)						
9 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 10 品質関係の試験結果のばらつきが80%以下である 11 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係に関する減点項目(該当があれば選択する) 13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、整督職員が修補指示を行った――――――――――――――――――――――――――――――――――――						6 その他()					
9 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 10 品質関係の試験結果のばらつきが80%以下である 11 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係の関連をは関する減点項目(該当があれば選択する) 13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が終補指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定が法とは測定値が不適切であったため、検査職員が終補指示を行い改善された-d 15 出質関係の測定が表述であったため、検査職員が終補指示を行い改善された-d 15 出質関係の測定が表述であったため、検査職員が終補指示を行い改善された-d 16 出質関係の測定が表述であったため、大き職員が文書で指示を行い改善された-d 17 出質関係の測定が表述の表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述の表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述の表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の試験結果のばらつきの判断ができない場合は評価値がだけで評することとし、「12」品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択する 18 出質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択することとし、「12」品質関係の測定が表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述を指示を行い改善された-d 18 出質関係の測定が表述を行います。 18 出質関係の測定が表述を対象が表述を対象を可能である。 18 出質関係の測定が表述を対象を対象を対象を超える 18 出質関係の測定が表述を対象を対象を超える 18 出質関係の測定が表述を対象を超える 18 出質関係の測定が表述を対象を超える 18 出質関係の測定が表述を対象を対象を対象を対象を超える 18 出質関係の測定が表述を対象を対象を超える 18 出質関係の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対													
9 品質関係の試験結果のばらつきが50%以下である 10 品質関係の試験結果のばらつきが80%以下である 11 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である 13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が核補指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行い改善された-d 15 監験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評することとし、「12」品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択する 評価対象項目「1~12」のうち、評価対象項目以下の場合はご評価とする。5項目以下 場合は、評価値が90%以上であっても、a',b又はb'とする ばらつきで判断不可能 50%以下 80%以下 80%を超える ばらつきで判断不可能 15 で 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1													
10 品質関係の試験結果のばらつきが80%と超えている						■品質関係の	の試験結果のは	じらつき (下記4	4項目から必ず選	択する事)			
11 品質関係の試験結果のばらつきが80%を超えている 12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である ■品質関係に関する減点項目(該当があれば選択する) 13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った						9 品質関係の	試験結果のば	うつきが50%」	以下である				
12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である						10 品質関係の	試験結果のば	うつきが80%」	以下である				
■品質関係に関する減点項目(該当があれば選択する) 13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたーd 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った――――――――――――――――――――――――――――――――――――						11 品質関係の	試験結果のば	うつきが80%を	を超えている				
13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d 14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行ったe 該当項目数						12 品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である							
14 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行ったe				ı		■品質関係に関する減点項目(該当があれば選択する)							
該当項目数 0						13 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された-d							
評価対象項目 5 評価値 0% 評価値 0% 評価値 0% 評価値 0% 評価をした。「12」品質関係の試験結果のばらつきで判断不可能である」を選択する 評価対象項目「1~12」のうち、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。5項目以下場合は、評価値が90%以上であっても、a',b又はb'とする 第一点 ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える 1 50%以上90%未満 a' b b' c 60%以上75%未満 b' c c c c c c		_				14 品質関係の測	川定方法又は測定	定値が不適切で	あったため、検査	職員が修補指示を行った	е		
評価値			該当項	目数	0								
<th cm;="" cm;<="" rowspan="3" td=""><td></td><td>Ī</td><td>评価対象</td><td>項目</td><td>5</td><td colspan="7">試験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価</td></th>	<td></td> <td>Ī</td> <td>评価対象</td> <td>項目</td> <td>5</td> <td colspan="7">試験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価</td>		Ī	评価対象	項目	5	試験結果の測定値等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価						
評価人の 場合は、評価値が90%以上であっても、a',b又はb'とする 評点 0 ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える 90%以上 a a' b b' 75%以上90%未満 a' b b' c c 60%以上75%未満 b b' c c 50%以上60%未満 b' c c					_	0%	することと	することとし、「12」品質関係の試験結果のばらつきで判断不同				する	
はちつきで判断可能 はちつきで判断不可能 はちつきで判断不可能 100%以下 80%以下 80%を超える 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%を超						С	11.1 11						
50%以下 80%以下 80%を超える 評価値 90%以上 a a' b b 50%以上90%未満 a' b' c c 60%以上75%未満 b' c c 50%以上60%未満 b' c c			評	点	0	場合は、評				්ර 	7		
90%以上 a a' b b 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c 50%以上60%未満 b' c c c									·	ばらつきで判断不可能			
評価値 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c 50%以上60%未満 b' c c c						-11	50%以下		,				
評価値 60%以上75%未満 b b' c c 50%以上60%未満 b' c c						, , , ,				-	ļ		
值 50%以上60%未満 b' c c c						7		-	 	~	ļ		
50%以上60%未滴 b' c c c							-	_			ļ		
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				С	С	c			
						50%未満	С]					

	1	舗装工事		12	土工事(盛土・築堤工・ジ	20	公園工事(遠路広場恒)
記の工事	2	下水道工事		(13)	オテキスタイル工) 切土工事	20	公園工事(遊戲施設工)
ら主とな		+		(14)	- 第岸・根固・水制工事		
工事を三 種程度選	3	管水路工事				<u>a</u>	基礎工事(地盤改良工含む)
で採点計 の直接工	4	仮設工事		15	鋼橋工事	<u></u>	補強土壁工
専の直接工 事費列に入 力する。	5	防護柵(網)・看イン工事	手板・サ	16)	コンクリート橋工事	<u>C</u>	共同溝・シールド工事
	6	標識工事		17)	法面工事	@	電線共同溝工事(管布設工事)
	7	区画線工事		18	塗装工事	<u>e</u>	上水道工事
	8	道路の新設、改	女良	19	植栽工事		
	9	維持修繕工事		20	公園・施設緑化等施設造成工・植栽基礎工		
	10	取壊し工		20	公園工事(法面工・擁壁工)		
	(11)	コンクリート 事	構造物工	20	公園工事(石工事・修景施 設工)		
価項目		細目	検査員		•	対象	項目
	Ⅲ. 出来:		100000	1舗装の平5			
出来栄え	舗装工事			2 構造物のi			
				3 端部処理	が良い		
				4 構造物への	のすりつけが良い		
				5 雨水処理	が良い		
				6 全体的な	美観が良い		
		6		その他()		
		該当項目数	0	0%	該当項目が83%以上	a 仕上	:げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		評 定	d			•	:げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		評 点	-5		該当項目が33%を超え67%未満	•	
					該当項目が33%以下	d 仕上	:げが悪く、全体的に美観が悪い
	Ⅲ. 出来统	<u> </u>	1	1 通りが良い	۲,		
	下水道工				から不可視部分の出来栄えの良る	が確認で	きる。
				3 クラック7			
				4 マンホール	ル天端と路面とのすりつけが良 <i>\</i>	`	
				5 マンホール	ルのインバートの仕上げが良い		
				6 土留め壁の	の通り・垂直精度の状態が良い。		
		6		その他()		
		該当項目数	0	0%	該当項目が83%以上	a 仕上	:げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		評 定	d				:げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		評 点	-5		該当項目が33%を超え67%未満		
					該 当 垻 日 か33%以 ト	d 仕上	:げが悪く、全体的に美観が悪い
				. # ~ \ T to	28.1		
	Ⅲ. 出来	栄え		1 管の通り7	ひてい		
	Ⅲ. 出来: 管水路工	=			かよい 装に補修痕等がない		
		=		2 管内面塗			
		=		2 管内面塗	と と と は に 補修痕等がない こ も 細心の注意が払われている		
		=		2 管内面塗	と とに補修痕等がない こも細心の注意が払われている 扇水がない		
		=		2 管内面塗 3 小構造物 4 管からの	と		
		=		2 管内面塗 3 小構造物に 4 管からのに 5 クラックに	とは補修痕等がない こも細心の注意が払われている 属水がない が無い 美観が良い		
		事	0	2 管内面塗約 3 小構造物は 4 管からの約 5 クラックが 6 全体的な動	と しまれる また また また また また また また また また ない また が払われている 扇水がない が無い まま また	a 仕上	: げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		事	0 d	2 管内面塗 3 小構造物は 4 管からの 5 クラック 6 全体的な その他(接に補修痕等がない こも細心の注意が払われている 扇水がない が無い 美観が良い) 該当項目が83%以上		げがきめ細かく、全体的に美観が良い げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		事 6 該当項目数	+	2 管内面塗 3 小構造物は 4 管からの 5 クラック 6 全体的な その他(接に補修痕等がない こも細心の注意が払われている 扇水がない が無い 美観が良い) 該当項目が83%以上	b 仕上	げがきめ細かく、全体的に美観が良い

₹来栄える	細 目	検査員	評 価 対 象 項 目
米宋え	Ⅲ. 出来栄え		1 鋼矢板・親杭の通りが良い
	仮設工工事		2 覆工板にがたつきが無い
			3 鋼矢板のかみ合わせ等不良部分が無い
			4 床付け面の仕上げが良い
			5 全体的な美観が良い
	5		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	 該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評点	-5	 該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
ŀ	Ⅲ. 出来栄え		1 通りがよい。位置、高さが適切である
	防護柵(網)・看板・サ		2 端部処理が良い
	イン工事		3 部材表面に傷及び錆が無い
			4 既設構造物等とのすりつけが良い
			5 きめ細やかな施工がなされている
			6 全体的な美観が良い(仕上がり状態が良い)
			7 看板・サイン等の記載内容が適切である
	7		7 年版・9 1 2 寺 2 記載 17 日か 10 切 こめる その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	10% 183 194 1963 1964 1965 1
	評 点	-5	該当項目が67%以上83%末満c 仕上げがさめ畑がく、至体的に実観が良い 該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	計 点	-5	
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
İ	Ⅲ. 出来栄え		1 設置位置に配慮がある
	標識工事		2 標識の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い
			3 標識板の支柱に変色が無い
			4 支柱基礎の埋戻し等が念入りに施工されている
			5 全体的な美観が良い
	5		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	Ⅲ. 出来栄え		1 塗料の塗布が均一である
	区画線工事		2 視認性が良い
	区画線工事		2 視認性が良い 3 接着状態が良い
	区画線工事		
	区画線工事		3 接着状態が良い
	区画線工事		3 接着状態が良い 4 施工前の清掃が入念に実施されている
		0	3 接着状態が良い 4 施工前の清掃が入念に実施されている 5 全体的な美観が良い
	5	0 d	3 接着状態が良い 4 施工前の清掃が入念に実施されている 5 全体的な美観が良い その他()
	5 該当項目数		3 接着状態が良い 4 施工前の清掃が入念に実施されている 5 全体的な美観が良い その他()

$\overline{}$	細 目	検査員	評 価 対 象 項 目
形及	Ⅲ. 出来栄え		1 土工の天端及び端部の仕上げが良い
栄え	道路の新設・改良		2 切土、盛土法面の通りが良い
			3 中心線及び縦・横断等の勾配が適切である
			4 コンクリート構造物の表面状態が良い
			5 構造物にクラック、破損が無い
			6 雨水等排水処理が良い
			7 全体的な美観が良い
	7		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満一-c 他の事項に該当しない。
	h1 1/1/2	Ü	
			政司·須日//1-35/////////////////// U
Ⅲ. 出	Ⅲ. 出来栄え		1 小構造物等にも注意が払われている
j	維持修繕工事		2 きめ細やかな施工がなされている
			3 既設構造物とのすりつけが良い
			4 全体的な美観が良い
	4	1	その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	
		-5	該当項目が33%を超え67%未満一-c 他の事項に該当しない。
	H1 V/V	U	該当項目が33%以下
			MANUAL THE TOTAL MANUAL
	Ⅲ. 出来栄え		1 きめ細やかな施工がなされている
-	取壊し工		2 既存部分や関連設備との調整がなされている
			3 取壊し後の整地等仕上がりの状態が良好である
			4 取壊し対象(リサイクル材、産業廃棄物等)の散乱等が無く処理が適切である
	4		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	 該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	⇒	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	評 点		
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
<u>.</u>			
	Ⅲ. 出来栄え		1 コンクリート構造物の表面状態が良い
			1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ		1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・		1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ		1 コンクリート構造物の表面状態が良い2 コンクリート構造物の通りが良い3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い4 クラックが無い5 漏水が無い
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事		1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事		1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事	0	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事		1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事	0	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
:	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事	0 d	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 定 評 点	0 d	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
: : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事	0 d	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
-	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 定 評 点 Ⅲ. 出来栄え 土工事(盛土・築堤エ 事)・ため池工事等(ジ	0 d -5	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他() 該当項目が83%以上
-	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 定 評 点	0 d -5	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
-	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 定 評 点 Ⅲ. 出来栄え 土工事(盛土・築堤エ 事)・ため池工事等(ジ	0 d -5	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
-	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 定 評 点 Ⅲ. 出来栄え 土工事(盛土・築堤エ 事)・ため池工事等(ジ	0 d -5	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
-	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物エ事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 点 Ⅲ. 出来栄え 土工事(盛土・築堤エ 事)・ため池工事等(ジオテキスタイル工含む)	0 d -5	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
-	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 定 評 点 Ⅲ. 出来栄え 土工事(盛土・築堤エ 事)・ため池工事等(ジ オテキスタイル工含む)	0 d -5	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他() 0% 該当項目が83%以上
-	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 定 評 点 Ⅲ. 出来栄え 土工事(盛土・築堤エ オテキスタイル工含む)	0 d -5	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他()
-	Ⅲ. 出来栄え コンクリート構造物工 事・砂防構造物工事・ 海岸工事・トンネルエ 事 6 該当項目数 評 定 評 点 Ⅲ. 出来栄え 土工事(盛土・築堤エ 事)・ため池工事等(ジ オテキスタイル工含む)	0 d -5	1 コンクリート構造物の表面状態が良い 2 コンクリート構造物の通りが良い 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 クラックが無い 5 漏水が無い 6 全体的な美観が良い その他() 0% 該当項目が83%以上

目	細目	検査員	評価対象項目
『及 Ⅲ.	出来栄え		1 規定された勾配が確保されている
^{⋞え} ┃切∃	上工事		2 切土法面の施工にあたって、法面の浮石が除去されている等、適切に施工されている
			3 法面勾配の変化部について、干渉部を設ける等適切に施工されている
			4 施工面の木根等が確実に除去されている
			5 滞水等による施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている
			6 関係構造物との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている
	_	_	7 全体的な美観が良い
	7		その他()
	該当項目数	T 0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
_	111 + 24 >	 	NE la 28 ft v.
	出来栄え		1通りが良い
護月	岸・根固・水制工事	-	2 材料のかみ合わせが良く、クラックが無い
			3 既設構造物とのすりつけが良い
			4 天端及び端部の仕上げが良い
	_		5 全体的な美観が良い
	5		その他()
	該当項目数	女 0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	H1 7W	Ů	該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
			MANUAL COMMITTER OF THE OFFICE OF THE MANUAL COMMITTER OF THE MANUAL COMMITTER OF THE OFFICE OF THE MANUAL COMMITTER OF THE MANUAL COMMITTER OF THE OF
Ш.	出来栄え		1表面に補修箇所が無い
鋼棉	喬工事		2 部材表面に傷、錆が無い
			3 溶接に均一性がある
			4 塗装に均一性がある
			5 全体的な美観が良い
	5		その他()
	該当項目数	ά 0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
			該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d -	
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	出来栄え		該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	ーーーー ノクリート橋工事		1 コンクリート構造物の表面状態が良い
ı			
			2 コンクリート構造物の通りが良い
			3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い
			3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い
			3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い
			3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い
	6		3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数		3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他() 0% 該当項目が83%以上
		を 位 d	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数		3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他() 0% 該当項目が83%以上
	該当項目数 評 定	d	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他() 0% 該当項目が83%以上
ш.	該当項目数 評 定	d	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数 評 定 評 点	d	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数 評 定 評 点 出来栄え	d -5	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数 評 定 評 点 出来栄え	d -5	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数 評 定 評 点 出来栄え 新工事	d -5	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数 評 定 評 点 	d -5	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他() 該当項目が83%以上
	該当項目数 評 定 評 点 出来栄え 町工事 4 該当項目数	d -5	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数 評 定 評 点 出来栄え 新工事 4 該当項目数 評 定	d -5	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()
	該当項目数 評 定 評 点 出来栄え 町工事 4 該当項目数	d -5	3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い 4 支承部の仕上げが良い 5 クラックが無い 6 全体的な美観が良い その他()

	細 目	検査員	評価対象項目
及 []	Ⅱ. 出来栄え		1 塗装の均一性が良い
え _当	途装工事(工場塗装は除		2 細部まできめ細やかな施工がされている
<	()		3 補修箇所が無い
			 4 ケレンの施工状況が良好である
			5 5 全体的な美観が良い
	5		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	
	評 点	1	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	計 点	-5	
			以 3 次日 // -55 // 人 工 L 工 // // - 志 / 、 工 上 上 上 大 航 // - 志 / 、
I	Ⅱ. 出来栄え		1 樹木の活着状況が良い
杠	直栽工事		2 支柱の取付がきめ細かく施工されている
			3 支柱の取付が堅固である
			4 全体的な美観が良い
	4		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	
	平 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	פר יה	θ	該当項目が33%以下
			M - A F A OVEN I A LL LI M 心 / 、工作II T 大既が高V ·
	I. 出来栄え		1表土保全の仕上がり状態が適正である
	公園・施設緑化等施設		2 敷地のラウンディングの仕上がり状態が適正である
Ú	造成工・植栽基礎工		3 土壌改良の表面仕上がり状態が適正である
			4表土盛土の表面仕上がり状態が適正である
			5 築山の納まり等仕上がり状態が適正である
	5		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評定	d	 該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
		-	該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
-			1 法面の通り、端部処理等の仕上がり状態が適正である
	11. 山米未え \園工事(法面工・擁壁		1 法国の通り、端部処理等の仕上がり状態が適正である 2 芝付・吹付等の仕上がり状態が適正である
	_)		2 之村・外付等の仕上かり状態が適正である 3 擁壁の通り、レンガ・タイル等の表面仕上がりが適正である
		-	4 石張り工の仕上がり状態が適正である
	_	-	5 石積工仕上がり状態が適正である
	5 	-	その他() 数と項目が0.00/ PI
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上
		d	該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	 II. 出来栄え		1 使用材料の品質管理を適切に行っている事が証明書等で確認できる
	公園工事(石工事・修景施		2 石材の規格・寸法は適切である
部	是工)		3 使用材料の品質管理に修景的配慮がされている
			4 石組・景石工の仕上がり状態が適正である
			5 修景施設の仕上がり状態が適正である
	5		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
1	評 定	d	
		-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	= 1 P		
	評点	-9	i 該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い

	細 目	検査員	評価対象項目
及 Ⅲ. 出来给			1 舗装の仕上がり状態が適正である
え 公園工事	耳(園路広場工)		2表面排水勾配及び仕上げ高さが適切である
			3 目地の施工が適切である
	3		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	н 1 7///	Ü	該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
Ⅲ. 出来结	ツ ゥ		1 岩目犯異の仕しだりが高工でもで
	ポス 耳(遊戯施設工)		1 遊具設置の仕上がりが適正である
ム国工事	下(妊娠,他以上)		2 遊具の品質規格が仕様書通りであることが確認できる
			3 遊具等の施設の構造、形状寸法、材質、安全性は適切である
			4 コンクリート基礎やその他の部材の面取りに十分配慮がなされている
			5 ボルト等の危険な突起物がない
			6 木材については、ササクレやワレに対する配慮がなされている
	6		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
III III da	× .>		・ 「工服房のルールデンウン、
Ⅲ. 出来领	宋ス [事(地盤改良等を		1 土工関係の仕上げが良い
基礎工工 含む)	ず(地盤以及寺を		2 通りが良い (1.1.1) (1.1.1.1) (1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.
			3 端部、天端の仕上げが良い
			4 施工管理記録等から不可視部分の出来栄えの良さが伺える
	4		その他()
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
		-	該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
Ⅲ. 出来统	<u></u> 栄え		1 壁面材(コンクリート製品)の割れ・カケ・傷が無い
補強土壁			2 基礎上面の平坦性が良い
			3 天端及び端部の仕上げ等が良い
			4 壁面材の目違い、段差が少なく構造物の通りが良い
	-	-	5 全体的な美観が良い
	5 5		その他() オルグラロギの00/ NI
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 定	d	該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満一c 他の事項に該当しない。
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
Ⅲ. 出来领	 栄え		1 RCセグメントの割れ・カケが無い
共同溝·	シールド工事		2 継手面の防水が確実になされている
			3 セグメント間の目違い、段差が無い
			4 ボルトの締め付け状況が良い
			5 全体的な美観が良い
	5		5 王仲のな天観が及い。
	該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		<u> </u>	
	評 定	d	該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
	評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
	61 7111		
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	<u> </u>	•	該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
			該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い

評価項目	j	細目	検査員	評価対象項目
3. 出来形及	Ⅲ. 出来第	やえ		1 管路の割れ・カケが無い。
び出来栄え		溝工事(管布		2 継手面にパッキンの取付が確実になされている。
	設工事)			3 管路間の目違い、段差が少ない。
				4 管路継手ボルトの締付状況が良い。
				5 全体的な美観が良い。
		5		その他()
		該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		評 定	d	該当項目が67%以上83%未満b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
				該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	Ⅲ. 出来第	やえ		1 管渠の通りがより。
	上水道工	事(管布設)		2 弁筺等の仕上げがよい。
				3 クラックがない。
				4 漏水が無い。
				5 全体的な美観が良い。
		5		その他()
		該当項目数	0	0% 該当項目が83%以上a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い
		評 定	d	
		評 点	-5	該当項目が33%を超え67%未満c 他の事項に該当しない。
				該当項目が33%以下d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い